

令和2年度
事業報告

社会福祉法人緑樹会

— 目 次 —

◆法人本部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	01
◆総合福祉センター緑樹苑	
＊介護老人福祉施設緑樹苑	
・介護老人福祉施設緑樹苑・・・・・・・・	10
・緑樹苑短期入所（ショートステイ）・・	18
・緑樹苑給食センター・・・・・・・・	22
＊在宅サービスセンター	
・緑樹苑デイサービスセンター・・	27
・緑樹苑居宅サービス事業所（訪問介護・障害福祉）・・	35
・緑樹苑居宅介護支援事業所・・	42
・沖縄市地域包括支援センター西部北・・	48
・みどり学童クラブ・・・・・・・・	54
◆ケアハウスはいびすかす・・・・・・・・	61
◆ケアハウスていんさぐぬ花・・・・・・・・	71

法人本部 事業報告

1. 総括

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、法人統一の感染防止対策マニュアルを作成し、感染防止に努めた。感染防止対策マニュアルに基づき面会制限を実施する等、利用者やご家族に多大な負担を強いることとなる為、各施設にオンライン面会に必要なシステムの導入・推進を図った。法人主催行事は感染拡大防止の観点から全て中止とした。また、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の申請・取りまとめを行い、迅速な職員慰労金の支給実施及び感染防止対策備品などを整備した。職員に感染者が発生した際には、緊急感染対策委員会を招集し、施設対応の情報共有や職員派遣等の協議・調整、情報公開を行うと共に感染職員・濃厚接触職員（疑い含む）には新型コロナ特別休暇の枠組みを取り決め、療養や早期のPCR検査受検に繋げた。

法人の全サービスにおいて、理念に沿った、より良いサービスの提供と職員の離職防止を図る為、管理職等への各職位における役割と責任の履行の周知徹底、資質に応じた昇任判断、適切な評価等への意識醸成を促し、これらを明確化したキャリアパスの構築を図った。

2. 運営状況

県内での新型コロナウイルス感染拡大に伴い、短期入所の受入れ制限や在宅サービスの利用控え等があったものの、特養の高稼働率の維持、新型コロナ交付金等の早急な申請等により法人全体における事業収入は 1.12%増、サービス活動収益は 0.48%減（いずれも前年度比）となった。

今年度からの契約職員等への賞与支給、法人独自のコロナ慰労特別手当の支給による人件費や施設修繕費等の増加により事業活動収支差額は 27.2%減となった。これにより総合福祉センター建替基本構想に基づく、施設整備積立金は目標額の積立には至らなかった。

理事会・評議員会の開催等については、通常開催の他、県の緊急事態制限期間中や近隣地域における感染状況等を鑑み、決議の省略による開催も実施した。

3. 事業状況

（1）人材確保事業

①県内の学校訪問

コロナ禍において学校訪問は実施できず、県内学校への求人票の郵送のみを行った。新卒 2 名を内定。

②職場説明会の実施

人材紹介会社と連携した職場説明会を実施。その後の採用面接の結果、採用には至らなかった。

③合同企業説明会及び就職説明会への参加

各関係機関が主催する、合同企業説明会及び就職説明会へ参加したが、入職希望の人材確保には至らなかった。

④外国人の人材活用

介護分野の特定技能における外国人採用に向け、介護事業所合同面接会や 2 次面接会を実施し 3 名を内定。しかし入国管理局からの留学ビザから特定技能ビザへの申請が下りず、入職には至らなかった。次年度以降の活用情勢を注視し継続事業とする。

⑤ホームページにおけるリクルートページの創設・活用

ホームページのリニューアルはしたものの、求人に特化したリクルートページの開設までには至らず、令和 3 年度へ持ち越しとなった。

(2) 設備整備事業

コロナ禍による支出の増加や感染拡大防止対策による事業縮小（短期入所）等の影響により、35,000,000 円の目標積立額に対し、32,500,000 円の設備整備積立金の積み立てとなった。

(3) 職員研修事業

緊急事態宣言発令やコロナ禍の影響等により、日程調整や会場変更等を行い実施した。しかし調整がつかず中止となった研修もあった。

研修名	内 容 等	実施月	参加者
新人職員研修	「教えられ上手、育てられ上手になろう」、 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	7/10	特養 2 名 ていんさぐ 1 名 デイサービス 2 名 訪問介護 1 名
	「教えられ上手、育てられ上手になろう」、 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	10/15	特養 1 名 はいびすかす 1 名 デイサービス 2 名 給食センター 2 名
	「教えられ上手、育てられ上手になろう」、 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	1/15	ていんさぐ 1 名
新人フォローアップ研修	中止	4/30 1/22	
ステップアップ研修	「仕事は楽しいですか？」 ～働くってどんなこと～ 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	11/13	特養 1 名 はいびすかす 1 名 ていんさぐ 1 名 居宅支援 1 名

中堅職員研修	「いろんな物事が変わっていく」～天に宝を積む または陰徳を儲ける～ 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	6/19	デイサービス 1 名 学童 2 名 居宅支援 1 名 ていんさぐ 1 名
	「ハリネズミのジレンマと一期一会」 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	12/17	特養 1 名 居宅支援 1 名 デイサービス 1 名 学童 1 名
係長・主任研修	「リサーチ力を高めよう」～あなたの大好きな〇〇を手に入れよう～	7/17	特養 1 名 デイサービス 2 名 訪問介護 1 名 居宅支援 1 名 ていんさぐ 2 名 学童クラブ 1 名
	「伝える・伝わる・伝わってる？」～「支える人」を「支える人」～ 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	11/20	特養 1 名 デイサービス 1 名 訪問介護 1 名 はいびすかす 1 名
プレ管理者 （課長・係長）研修	中止	8/19	
虐待防止研修	「他山の石とせよ！」 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	9/17	特養 3 名 はいびすかす 2 名 デイサービス 2 名 訪問介護 1 名
定年退職者研修	令和 3 年 3 月末で定年退職を迎える職員を対象に、継続雇用や税制面についての基礎知識を学ぶ。 講師：社会保険労務士 比嘉正人氏	10/14	11 名
マネジメントと職員意識の向上に向けた研修・勉強会	経営者及び管理職における経営の基本姿勢とマネジメント力の向上、各事業の収支分析等 講師：富田将孝税理士	毎月 1 回実施	常務理事、事務局長、各施設長等
初級リスクマネージャー養成講座	各施設におけるサービスの改善・向上及び体制の整備など、リスクマネジメントの中核を担うリスクマネージャーとして管理者層の育成を図る。 主催：全国経営協	1 月及び 2/9・10	副施設長 各部署課長
研修委員会	研修内容の改善、職員の資質向上に関する提案等（課長等会議時に開催）		副施設長・課長

(4) 広報事業

法人の経営理念及び事業内容等を広く発信することを目的に、広報紙「竹とんぼ」を毎月発行し、法人の事業や各施設等の行事、利用者の活動等を紹介した。

また、併せてホームページによる法人情報の公開やお知らせ等の情報を発信した。

①竹とんぼ発行

- ・毎月1日発行（第230号から第240号発行）。新型コロナウイルス感染症に係る業務対応の為、令和2年5月号及び令和3年3月号を休刊した。

②ホームページによる広報の充実強化

- ・法人ホームページを令和2年12月にリニューアルした。各コンテンツをより見やすく分かりやすい構成にするとともに、特養・はいびすかす・ていんさぐぬ花の各トップページにお知らせ機能を追加し、各施設からの情報発信力の強化を図った。

③地域ネットワークを活用した広報活動

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地域住民の受入れや地域を訪問する広報活動は中止とした。

(5) 主催行事及び地域における公益的な取組みの推進

主催行事は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止とした。地域における公益的な取組みに関しては、コロナ禍で実施可能な取組みを行った。

①敬老会（新百歳祝・風車祝・米寿祝・生年祝）

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止

②地域交流グラウンドゴルフ大会

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止

③にこにこ宅配サービス

- ・提供人数4名 計32食

④デイサービス利用者食事無料サービス

- ・提供食数 8,039食

⑤地域活動団体への活動支援

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止

(6) 後援会運営支援事業

①後援会ふれあいパーティの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止とした。

②寄贈品の贈呈

寄贈日：12月23日

寄贈品：車椅子2台、車いす用体重計1台

(7) 法人本部運営事務事業

①キャリアパス制度構築への取り組み

主に介護職を対象とした、各職位における、職責・求める能力・任用の要件等を定めた法人統一のキャリアパスを作成した。

②PDCAサイクルによる計画的な事業運営

各事業計画の執行状況を幹部会議及び施設長等会議において検証を行い、達成状況を確認し、計画的な事業運営に努めた。

③事務業務の合理化・効率化

タブレット端末等ICT機器の導入による介護記録業務の負担軽減や情報共有の強化を図るとともに、カレンダー機能やチャットソフトの導入による情報の迅速な共有化、オンラインビデオ通話システムの導入など、一部の部署・業務においては活用を図ったものの、法人全体までの構築には至らなかった。

④新型コロナウイルス感染症緊急支援包括支援交付金の活用

沖縄県が実施する新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業による交付金を活用し、職員への業務負担に対する慰労金の支給、保健衛生用品・器具備品等の購入など、感染症対策に要する費用として活用した。

⑤各種委員会及び会議の運営

<第三者委員>

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、第三者委員会の開催を中止とし、令和元年度における苦情・ヒヤリハット・事故等の概要と対応の状況、その後の対策についての報告書を第三者委員へ送付した。

<安全衛生委員会>

職員の安全衛生管理及び災害の未然防止と、職場環境の改善、職員の健康・衛生の保持増進を推進し、円滑に職務の遂行ができるよう下記のテーマについて開催を予定したが、県の緊急事態宣言発令や近隣地域の感染状況を踏まえ、4回のみで開催となった。

開催月	テーマ	参加者
4月	健康診断受診後の取り組みについて	中止
5月	ストレスチェック実施について	中止
6月	長時間労働について	9名
7月	ストレスチェック結果報告について	中止
8月	有休消化取得について	中止
9月	インフルエンザ予防接種（職員）内容について	7名
10月	メンタルヘルス対策について	7名

11 月	健康アロマ教室	中止
12 月	腰痛予防対策について	7 名
1 月	次年度計画案について	中止
2 月	健康診断・人間ドック受診について	中止
3 月	今年度の活動について	中止

<幹部会議><感染対策委員会>

- ・開催日：毎月（第1・3・5金曜日）及び適時
- ・開催数：31回
- ・内 容：各施設・事業所等の情報共有、業務の課題等の審議、具体的な方策など、事業経営全般にわたる検討、協議、事業実施の決議などの他、感染対策委員会として新型コロナウイルスへの感染対策、各施設の情報共有、法人内施設発生時の対応等について協議・指示を行った。

<施設長等会議>

通年第2・4金曜日の開催であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、必要に応じて開催した。

- ・開催日：適時
- ・開催数：8回
- ・内 容：理事会・評議員会への議事の素案検討、職員採用、賞与率、人事異動また各施設における課題等について検討及び提案。施設経営における各施設間の調整等を図った。

<課長等会議>

新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期は感染拡大防止の観点から会議を招集せず、下半期から再開したもの、その業務への対応等の為、定期開催ができなかった。

- ・開催日：10/9、12/25、1/8、2/26、3/26
- ・開催数：5回
- ・内 容：主に法人全体の情報共有及び職員研修内容の検討。

<職員全体会議>

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全体会議は中止とし、各施設・事業所ごとに事業計画等の説明を行った。

（８）役員会等の開催

＜法人監査＞

- ・開催日時：令和２年５月２０日・２１日
- ・監事：新垣暁子監事、山城真仁監事
- ・内容：令和元年度事業及び会計監査

＜定時評議員会＞

①第１回評議員会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、決議の省略により実施。

- ・決議の省略提案日：令和２年６月８日
- ・議案内容：令和元年度事業報告について
令和元年度計算書類及び財産目録の承認について

＜理事会＞

①第１回理事会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、決議の省略により実施。

- ・決議の省略提案日：令和２年５月２７日
- ・議案内容：令和元年度事業報告及び決算の承認について
令和２年度第一次補正予算（案）について
令和２年度定時評議員会の決議の目的である事項及び報告事項の提案について

②第２回理事会

県の緊急事態制限発令期間中の為、決議の省略により実施。

- ・決議の省略提案日：令和２年８月１２日
- ・議案内容：新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金給付規程（案）について
令和２年度第二次補正予算（案）について

③第３回理事会

- ・開催日時：令和２年１０月２９日
- ・出席者数：理事４名 監事１名
- ・議案内容：理事長職務執行状況の報告
常務理事（業務執行理事）職務執行状況の報告
沖縄市地域型地域包括支援センター運営業務（受託事業）の継続について
新型コロナウイルス感染症の対応状況について
役員等の状況について
令和２年度第三次補正予算（案）について

④第4回理事会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、決議の省略により実施。

- ・決議の省略提案日：令和2年12月10日
- ・議案内容：評議員選任解任委員会に提案する評議員の候補者（案）について
目的積立金の取り崩し及び目的外使用（案）について
令和2年度第四次補正予算（案）について
育児・介護休業等に関する規則の改定（案）について

⑤第5回理事会

- ・開催日時：令和3年3月12日
- ・出席者数：理事5名 監事2名
- ・議案内容：理事長職務執行状況の報告
常務理事（業務執行理事）職務執行状況の報告
新型コロナウイルス感染症の対応状況について
令和2年度第五次補正予算（案）について
令和3年度事業計画（案）の承認について
目的積立金の取崩し（案）について
令和3年度収支予算（案）の承認について
就業規則の改定（案）について
給与規程の改定（案）について

<評議員選任・解任委員会>

①第1回評議員選任・解任委員会

- ・開催日時：令和3年1月14日
- ・出席者数：委員4名
- ・議案内容：補欠評議員の選任（案）について

総合福祉センター緑樹苑

*介護老人福祉施設緑樹苑

*在宅サービスセンター

介護老人福祉施設緑樹苑 事業報告

1. 総括

令和2年度の入居者の介護度割合は要介護4、5で77%を占め、入居者の重度化や、85歳以上が55%と高齢化の傾向であった。

年度の退去者は死去による21名で、そのうち施設での看取り介護は17名であった。看取り介護にあたっては、家族に対し、嘱託医から十分な説明が行われたことにより、年度末で22名の入居者が同意に至っている。

入居者の健康管理については、水分補給と口腔ケアの強化、また体調不良者の早めの病院受診等を行い、入院者は延べ22人で前年度より28人の減（-56%）、入院日数は325日で、前年度より549日の減（-62.8%）となった。入院日数の減は、看取り介護対象者が増え、入院が無くなったことも要因の一つであった。

新型コロナウイルス感染症は、職員2名、利用者1名の陽性者が発生し、職員7名、利用者8名が濃厚接触者として特定された。その為、入居者の介護サービス提供に困難な状況が続いた。嘱託医の指示、レッドゾーンの設定、予防対策の徹底等を行いその他の陽性者は発生しなかった。その後、入居者全員へ2回のPCR検査の実施及び結果に伴いレッドゾーンを解除、職員9名も全員復帰し、終息に至った。最初の発生から17日目での終息であった。発生から終息の間、陽性職員の自宅療養や入院、濃厚接触職員の自宅待機、その間のPCR検査、家族との関わり、職員の負担増加等苦しい状況が続いたことも経験し、施設での予防対策の重要性と対策を徹底することの大きな動機付けとなった。

終息の見えない新型コロナウイルス感染症については、国、県の感染拡大防止に関する通知等を踏まえ、感染拡大防止に努めると共に、法人の新型コロナウイルス感染症対策委員会の決定事項を入居者、職員等へ周知を徹底した。

また、年度を通して家族・利用者へ面会制限への理解・協力に努め、途中一部解除も行いながら、原則禁止という措置を取った。その代替でテレビ電話を活用した面会を実施し、55家族384回の利用があった。

2. 運営状況

稼働率は、入院者（前年比-56%）、入院日数（前年比-62.2%）の大幅な減で、目標の95%を超え97.1%に上昇した。

人材確保は、年間を通して介護職員を常勤職員4名、パートから常勤へ1名、介護補助2名の採用を行ったが、退職者は常勤職員4名、パート職員1名と依然厳しい状況であった。

3. 事業状況

(1) 人材育成

コロナ禍の中で、県内外の研修は、中止や延期となったが、施設内、法人内の研修（勉強会）は、感染予防対策を取った上で予定通り開催することができた。

WEB研修で実施ができた喀痰吸引研修は、職員3名が参加したが、その内1名が新型コロナウイルスで陽性となり、最後の実施研修を行うことができなかった。残りの2名も施設内で実施研修を行う予定が、施設のコロナ発生で実施することができなかった。講師が県外からくることと、医療施設での最後の実地研修の予定が取れず、年度内は未定のまま終わった。

①施設内研修 実施

施設内研修においては、研修ごとに担当職員自身が資料作成、講師役を担った。

月	研修名	参加人数
4月	身体拘束適正化・虐待防止	9名
5月	事故防止対策	8名
6月	感染症予防	9名
7月	看取り	9名
8月	認知症	7名
9月	苦情対策	8名
10月	身体拘束適正化・虐待防止	11名
11月	事故防止対策	9名
12月	感染症予防	10名
1月	看取り	11名
3月	褥瘡予防	11名
	認知症	11名

②本部研修・講座 実施

月	研修名	参加人数
6月	介護サービス「利用者の尊厳について」	10名
7月	新人職員研修	2名
	管理職研修（係長、主任）	1名
9月	高齢者虐待防止	3名
10月	新人研修	1名
11月	中堅職員研修	1名
	管理職研修（主任、副主任）	1名
12月	中堅職員研修	1名

③施設外研修 実施

	場 所	研修名	参加人数
10 月	緑樹苑 (WEB 研修)	現場における新型コロナウイルス感染対策	5 名
11 月	緑樹苑 (WEB 研修)	社会福祉法人人事労務管理講座	1 名
	緑樹苑 (WEB 研修)	喀痰吸引	1 名
12 月	緑樹苑 (WEB 研修)	喀痰吸引	1 名
1 月	緑樹苑 (WEB 研修)	喀痰吸引	1 名
	緑樹苑 (WEB 研修)	口腔ケア研修会	1 名
2 月	緑樹苑 (WEB 研修)	初級リスクマネージャー養成講座	1 名
3 月	緑樹苑 (WEB 研修)	社会福祉施設給食担当職員研修	1 名

④介護福祉士実務者研修支援 実施

実務経験 3 年以上の職員 2 名に、実務者研修に係る費用の助成を行った。介護福祉士の受験では、2 名の内 1 名が施設でのコロナ発生時、濃厚接触者となり、受験日と重なったことから受験することができなかった。他に受験予定だった 1 名も同じく濃厚接触者となり受験できなかった。5 名の受験予定者の内 2 名が受験できず、他は合格することができなかった。

⑤介護職員による喀痰吸引等の研修

講座からの研修に 1 名、実務者研修修了者の実地研修に 2 名の予定で行っていたが最後の実地研修前に、施設での新型コロナウイルス感染症発生時、3 名の内、陽性者 1 名、濃厚接触者 2 名となり、資格取得までに至らなかった。

(2) 入居者処遇

①レク活動の充実 未実施

感染予防対策のため、季節の行事等、中止か規模を縮小しての開催となった。また、新たなレクリエーションの導入もできなかった。

②入居者の低栄養リスクの改善・予防 実施

栄養マネジメントに基づき、入居者の栄養状態の改善、維持に努め、栄養状態を良好に保つことを継続して行った。

③口腔衛生管理の充実 実施

歯科医師の指示を受けた歯科衛生士の協力のもと、口腔ケアについて具体的な技術的助言及び指導を受け、協働して口腔ケアスキルの向上が図れた。また、質の良い口腔ケアを提供することで、誤嚥性肺炎を予防することに努めた。

④入居者の居宅での生活復帰の検討 実施

入所者の心身の状況、置かれている環境等に照らし、当該入所者が居宅において日常

生活を営むことができるかどうかについて、基準を作成し定期的に検討を行うことができた。

(3) 感染症対策について 実施

国及び県の感染拡大防止に関する通知等を踏まえ、入居者、職員等への対応について十分留意し、感染拡大防止に努めるよう周知を徹底することができた。感染予防品に関しては、必要物品を備蓄することができた。

施設入り口には、顔認証体温計、各出入り口に手指消毒用ディスペンサー5台、各居室には、新しく空気清浄機を設置し、また、再度発生した場合に備えて、人数に応じて隔離部屋を作るために、A棟廊下3カ所にパーティションの仕切りを設置した。

(4) 非常災害対策及び防犯対策について 未実施

マニュアルの中で、関係機関との連携体制の項目における、地域との協力関係、近隣の企業等との連携は図ることができなかった。また、職員への周知で定期的にマニュアルの説明、理解を図ることはできなかった。

(5) 備品整備 実施

温冷配膳車1台が耐用年数も過ぎ、温冷の効きが弱くなってきているため、食事の適温提供のために、32名分の食事が温冷できる温冷配膳者の購入を行った。

(6) パソコンの整備 実施

パソコン9台が、8年経過とOSのセキュリティーサポートが終了しているため、買い替えを行った。

(7) ICTの活用について 未実施

現場で便利に記録できるよう、介護ソフトが導入されているノートパソコン及びタブレット端末専用のワゴンを購入し、記録時間の軽減を図る計画は、ナースセンターでの入力が便利であるということから、現状のままで購入は行わなかった。

(8) 環境整備 未実施

1階ファミリーガーデンを入居者及び家族が気軽に利用できるように、現在使用の長テーブルを撤去し、車椅子でも利用できるテーブルと椅子を配置する計画であったが、コロナ禍の中で面会制限が継続し、整備することはできなかった。

(9) LED電球への切り替え 実施

居室の蛍光灯を、消費電力が低く寿命が長いLED電球への切り替えを計画通り2階の

各居室とナースセンターで行った。

4. 行事・活動等 実施

(1) 年間計画報告

月	行 事 名	参加人数
5 月	母の日祝い会 (5/8) 中止	0 名
	誕生会 (5/29) 中止	0 名
6 月	父の日祝い会 (6/19) 中止	0 名
	入居者健康診断 (6/22)	51 名
	誕生会 (6/26) 中止	0 名
7 月	七夕まつり (7/7)	35 名
	誕生会 (7/17)	44 名
9 月	敬老会 (9/21)	39 名
	誕生会 (9/25)	35 名
10 月	誕生会 (10/30)	35 名
11 月	消防訓練 (消防署届出) (11/10)	14 名
	誕生会 (11/27)	39 名
12 月	誕生会 (12/18)	36 名
	クリスマス忘年会 (12/25)	40 名
1 月	新年会 (1/4)	34 名
2 月	誕生会 (2/26)	26 名
3 月	消防訓練 (消防署届出) (3/24)	9 名
	誕生会 (3/26)	33 名

(2) 実習・ボランティア受入

新型コロナウイルス感染予防対策のため、受け入れなし。

(3) クラブ活動状況

クラブ名	回数 (年度)	参加人数 (1 回当たり)
ミニシアター	96	38
音楽鑑賞	40	33
音楽体操	30	30

(4) その他

月	内 容
5 月	簡易水道検査

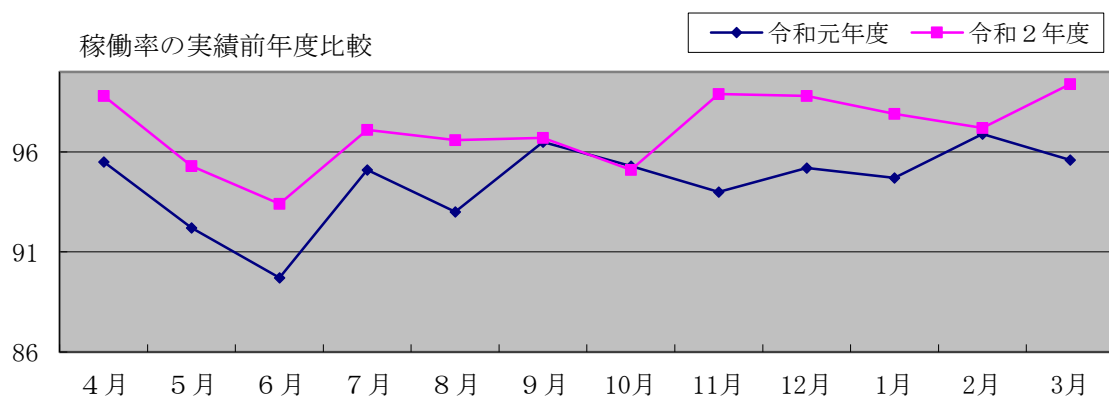
	害虫駆除及びマット消毒（亜土消毒）
6 月	沖縄県議会議員一般選挙不在者投票
	消防設備等機器点検
11 月	害虫駆除及びマット消毒（亜土消毒）
12 月	消防設備等機器点検

5. 利用状況について

(1) 年間実績（利用日数）特養 70 名

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
特 養	2,075	2,067	1,962	2,108	2,097	2,031	2,064	2,076	2,145
稼働率	98.8	95.3	93.4	97.1	96.6	96.7	95.1	98.9	98.8

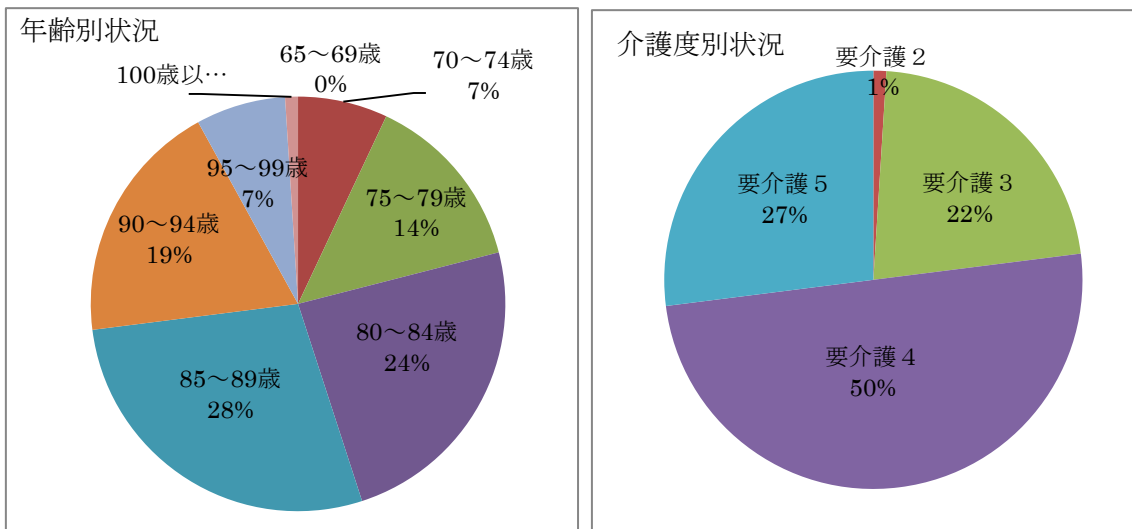
月	1 月	2 月	3 月	計
特 養	2,125	1,906	2,158	24,814
稼働率	97.9	97.2	99.4	97.1



(2) 入居者の性別、要介護度別、年齢別の状況

介護度	要介護 1		要介護 2		要介護 3		要介護 4		要介護 5		計	
年齢	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
65～69 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74 歳	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	1	4
75～79 歳	0	0	0	0	1	1	1	2	2	3	4	6
80～84 歳	0	0	0	0	1	2	3	6	2	3	6	11
85～89 歳	0	0	0	1	1	4	4	6	0	3	5	14
90～94 歳	0	0	0	0	1	2	2	5	1	2	4	9
95～99 歳	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	5
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
計	0	0	0	1	4	11	10	25	6	13	20	50

- ・最年長者年齢 101 歳、最年少者年齢 70 歳
- ・平均年齢：男 83.47 歳、女 85.94 歳、計 85.24 歳
- ・平均介護度：男 4.2、女 4.1、計 4.1



(3) 入退所状況

令和 2 年度の入居者数は 22 人（男 7 人、女 15 人）、退去者は 21 人（男 6 人、女 15 人）で、死亡で退去の 21 人のうち、17 人は施設での看取り介護であった。

区分 月	入居			退去					
	他施設 から入居	新規 入居	計	死亡 (看取り)	医 療 機 関	療養型 医療施設	家庭	その他	計
4 月	0	2	2	1	0	0	0	0	1
5 月	0	2	2	5 (4)	0	0	0	0	5
6 月	1	2	3	2 (1)	0	0	0	0	2
7 月	1	2	3	2 (1)	0	0	0	0	2
8 月	1	0	1	2 (2)	0	0	0	0	2
9 月	0	2	2	1 (1)	0	0	0	0	1
10 月	1	0	1	1 (1)	0	0	0	0	1
11 月	1	1	2	2 (2)	0	0	0	0	2
12 月	2	0	2	2 (2)	0	0	0	0	2
1 月	0	1	1	2 (2)	0	0	0	0	2
2 月	0	2	2	1 (1)	0	0	0	0	1
3 月	1	0	1	0	0	0	0	0	0
計	8	14	22	21 (17)	0	0	0	0	21

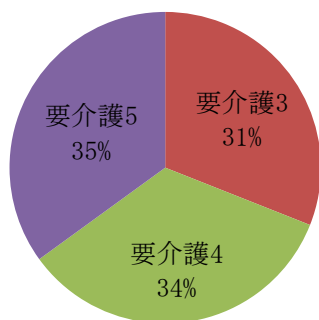
(4) 入居者の入院状況

入院日数は、要介護4，5で69%を占め、重度化による体力低下等の傾向が表れている。月別に見ると6月が一番多く、原因は、蜂窩織炎、肺炎による入院が主であった。

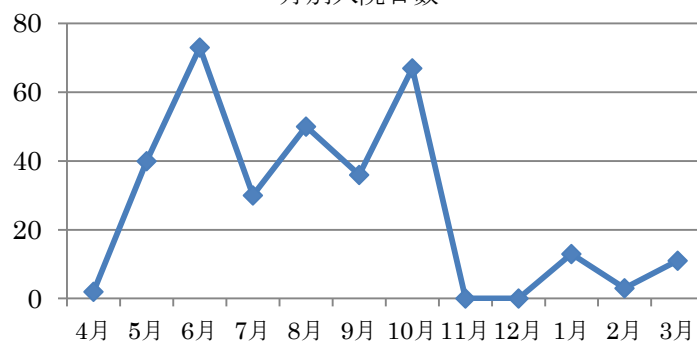
介護度別入院日数

月 区分	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4 月	0	0	2	0	0	2
5 月	0	0	0	20	20	40
6 月	0	0	0	18	55	73
7 月	0	0	0	24	6	30
8 月	0	0	26	21	3	50
9 月	0	0	30	0	6	36
10 月	0	0	36	17	14	67
11 月	0	0	0	0	0	0
12 月	0	0	0	0	0	0
1 月	0	0	7	0	6	13
2 月	0	0	1	0	2	3
3 月	0	0	0	11	0	11
計	0	0	102	111	112	325

介護度別入院日数



月別入院日数



緑樹苑短期入所生活介護事業 事業報告

1. 総括

新型コロナウイルス感染拡大による県内での緊急事態宣言等もあり、受け入れ制限を行ったことから、8月から9月半ばにかけては受入なしの状況で、稼働率は減少した。また施設で新型コロナウイルス感染症が発生し、終息まで利用者6名が帰宅できないという事態も発生し、利用者及びご家族に不安とご迷惑をおかけした。

感染対策としては、利用前日に本人の体調伺いや同居家族の発熱等の確認、そして当日は利用前の検温を実施してもらうよう、利用者及びその家族へ理解と協力を願った。職員に関しては、介護老人福祉施設と同様、感染対策マニュアルや国の感染拡大防止に関する通知等を踏まえ、感染拡大防止に努めるよう周知を徹底した。

2. 運営状況

受け入れ制限を行ったことから、稼働率は減少し、目標の85%を下回り46.6%となった。

3. 事業状況

(1) 人材育成 実施（介護老人福祉施設と同様に行う）

①施設内研修 実施

月	研修名	参加人数
4月	身体拘束適正化・虐待防止	9名
5月	事故防止対策	8名
6月	感染症予防	9名
7月	看取り	9名
8月	認知症	7名
9月	苦情対策	8名
10月	身体拘束適正化・虐待防止	11名
11月	事故防止対策	9名
12月	感染症予防	10名
1月	看取り	11名
3月	褥瘡予防	11名
	認知症	11名

②本部研修・講座 実施

月	研修名	参加人数
6月	介護サービス「利用者尊厳について」	10名
7月	新人職員研修	2名

	管理職研修（係長、主任）	1 名
9 月	高齢者虐待防止	3 名
10 月	新人研修	1 名
11 月	中堅職員研修	1 名
	管理職研修（主任、副主任）	1 名
12 月	中堅職員研修	1 名

（２）入居者処遇 実施

①居宅サービス計画に沿ったサービスの提供及び記録

居宅サービス計画を基に、当該計画に沿ったサービスを提供するとともに提供した具体的なサービスの内容等を記録することができた。

②短期入所生活介護計画の作成 実施

サービスを提供する場合は、短期入所計画を作成し、利用者の心身の状態が低下しないよう適切に支援する。介護計画は漫然かつ画一的にならないよう配慮を行った。

③レク活動の充実 未実施

コロナ禍の中で、季節の行事等は中止か縮小して行った。

④介護の統一化 実施

環境の変化による事故の発生を事前に防ぎ、安全が保たれるよう、職員間の連携を密に行い介護の統一を図った。

⑤健康管理 実施

健康管理については、特別養護老人ホーム看護職員等により健康状況に注意するとともに、健康保持のための適切な措置を講ずる。健康管理に関し、利用状況書に必要な事項を記入し退居時の際、ご家族に引き継ぎを行った。

⑥計画書に沿った機能訓練の充実 実施

機能訓練体制の充実・改善を図るために、サービス計画書に基づいて、個々人が望んでいる機能訓練やリハビリ室のみの訓練だけではなく、居室等で実際の生活に即した残存機能を活かした訓練を職員一緒になって支援し、個別ケアに努めた。

⑦家族との連携 実施

介護者、家族との関係を密にし、介護者、家族の在宅介護をサポートすることに努めた。

（３）委員会 実施

介護老人福祉施設と同様に実施

委員会名	実施月日
感染症対策委員会	5/11、7/8、7/16、8/4、10/26、12/1、1/13、3/10
事故防止対策委員会	4/6、5/1、6/1、7/2、8/4、9/7、10/6、11/5、12/8、1/6、3/9

身体的拘束適正化委員会	6/24、9/16、12/2、3/17
苦情解決委員会	6/23、11/9
褥瘡予防委員会	4/6、5/1、6/1、7/2、8/4、9/7、10/6、11/5、12/8、1/6、3/9
入退所検討委員会	5/18、9/1、1/5

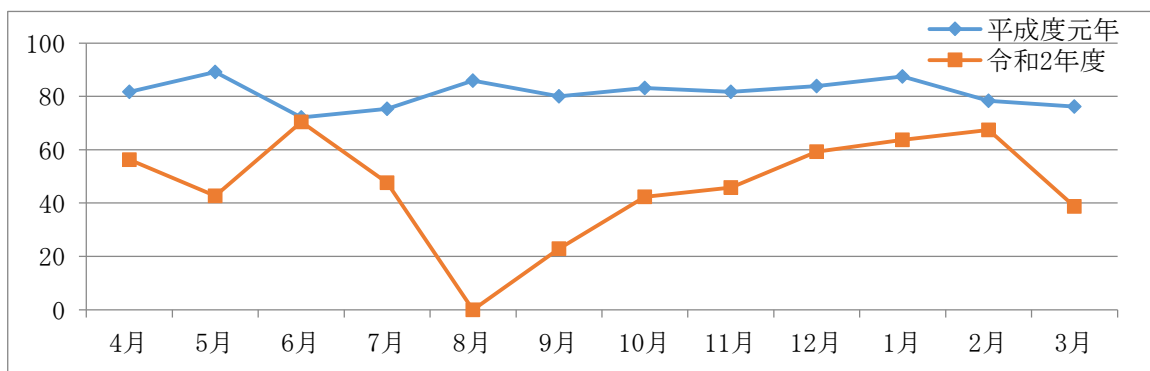
4. 利用状況について

(1) 月間利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用延人数	135	106	169	118	0	55	105	120	147
稼働率 (%)	56.3	42.7	70.4	47.6	0	22.9	42.3	50.0	59.3

月	1月	2月	3月	計
利用延人数	158	151	96	1,360
稼働率 (%)	63.7	67.4	38.7	46.6

稼働率比較グラフ

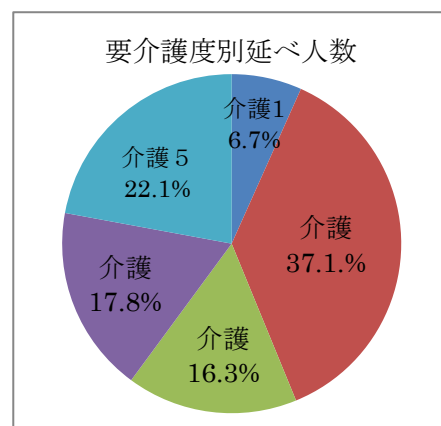


(2) 要介護度別延べ人数

	男	女	計	割合 (%)
要介護 1	5	4	9	6.7
要介護 2	5	45	50	37.1
要介護 3	5	17	22	16.3
要介護 4	9	15	24	17.8
要介護 5	15	15	30	22.1
計	39	96	135	100

(3) 利用者平均要介護度

男	女	計
3.1	2.8	2.9



(4) 性別平均年齢

男	女	計
79.84	86.87	85.04

(5) 提供支援事業所別定期利用者数

	支援事業所	定期利用者（人）
1	緑樹苑居宅介護支援事業所	7
2	中部徳洲会居宅介護支援事業所	7
3	居宅介護支援事業所なかがみ	5
4	琉球メディカルズ居宅介護支援事業所	2
5	介護支援センター中部	2
6	居宅介護支援事業所きづき	2
7	長寿苑居宅	2
8	中部サンケアネット居宅介護支援事業所	1
9	一条園居宅介護支援事業所	1
10	沖縄ケアサポートセンター	1
11	琉花	1
12	有限会社在宅介護サービスひまわり	1
13	居宅介護支援事業所美和	1
14	地域包括支援センター西部北	1
15	オリーブ	1
16	晴れ空	1
17	寿楽	1
18	WANSTYLE	1
19	くくる	1
	計	39

緑樹苑給食センター 事業報告

1. 総括

新型コロナウイルスが県内においても感染拡大する中、給食センター職員には、感染予防に努めるよう周知徹底した。施設内で新型コロナ感染者が発生した時には、使い捨て弁当容器等による食事の提供、施設職員及び調理職員が互いに確認・連携をとり食事運搬や配膳を行い、感染拡大防止に努めた。

施設や在宅サービス利用者の細かな食事形態の提供に努め、個別性に配慮した。栄養バランスの摂れた沖縄料理、沖縄行事食、薬膳料理等を取り入れ、健康長寿食を提供し健康増進を図った。

宅配サービスの配達時、自宅不在で安否確認が取れない場合や自宅内での転倒事故の発見、身体状況の変化等のケースがあり、その際には、迅速に地域包括支援センターや担当ケアマネ、家族等と連絡・連携を図り、適切な緊急対応に繋げた。

職員（配達員）を採用する事により、弁当配達地域の拡大を図ることができた。

2. 運営状況

沖縄市の委託事業である配食サービスは、年間食数 3,341 食を提供し前年比 96%となった。

公益事業の給食サービスについては、年間の食数 42,023 となり前年比 93%で目標には達成しなかった。居宅介護支援センター・地域包括支援センターと連携し、新規利用者を獲得したものの、年間を通して施設入所や長期入院等の理由による契約終了者が多く、暴風警報発令による宅配中止等も影響した。

（配食サービス）

市が認めた 65 歳以上の高齢者・高齢者世帯へ栄養バランスのとれた食事を月曜日～土曜日までの昼食又は、夕食上限 5 回まで宅配し安否確認を行った。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計食数
令和2年	283	268	279	293	283	241	292	246	336	291	264	265	3,341

（給食サービス）

食事の調理が困難な方や、高齢者及び身体障害者の方に、月曜日～日曜日の昼食及び夕食を宅配し安否確認を行った。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計食数
令和2年	3,556	3,621	3,542	3,733	3,654	3,325	3,549	3,520	3,608	3,431	3,250	3,234	42,023

安否確認

	自宅内転倒事故	身体状況変化等	安否確認不在
配食サービス	1 件	1 件	1 件
給食サービス	1 件	2 件	3 件

3. 事業状況

(1) 利用者へ質の良いサービス

①食事提供について

栄養バランスに配慮した、季節折々のメニューを取り入れ、誕生会や行事等に、幕の内容容器・レンジ対応の器を使用した食事の提供を実施した。

②イベント食について

「食」をより楽しんでいただくように利用者前での調理実践を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施しなかった。

③利用者とのコミュニケーションについて

利用者との交流については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から行わず、デイサービスのカフェタイムにおいて、ケーキ等の手作りおやつ提供のみを実施した。

④手作りパンについて

新型コロナウイルス感染防止の観点からパン教室講習会への参加は中止とした。施設厨房でパン作りの取り組みは行ったが、おやつとしての完成形には至らず、提供実施とはならなかった。

⑤食への関心への工夫について

季節感を盛り込みながら、様々な弁当容器を使用した食事の提供を行った。定期的に、おしながきや栄養メッセージをお伝えし、食への関心を高めてもらえるように努めた。

昨年にひきつづき父の日、母の日、クリスマスにはプレゼント等を提供したほか、今年度から毎月の誕生者へも、メモを添えて誕生日プレゼントを提供した。

(2) 人材の確保と育成

調理員の退職はあったものの、常勤3名、パート1名採用を行い、職員体制を維持できた。

研修においては、法人内研修（新人・ステップアップ）・社会福祉等給食担当職員（免疫力高める栄養素や食事）衛生講習会（H A C C P）に参加し、専門職としての資質向上に努めた。

(3) 業務改善

厨房機器プラストチラー（急速冷凍）を導入し、計画的に調理した食事を急速冷却・凍結することにより、食事の幅が広がったことに加え、衛生面の確保やプラストチラーを利

用した食事やデザートの効果的な提供、調理時間の短縮等による早朝業務等の軽減が実現した。

(4) リスクマネジメント

①〈衛生管理〉

- ・貯水槽の清掃 3月・実施。
- ・害虫駆除（全館）5月・11月・年2回実施。
- ・害虫駆除（厨房）2月・5月・8月・11月・年4回実施。
- ・食堂ホール入口扉の取り付けの実施。
- ・宅配利用者の安否確認・緊急連絡先表実施。
- ・食中毒事故発生時マニュアル（大量施設管理マニュアル）実施。

②新型コロナ感染予防対策について

新型コロナウイルスへの認識・感染対策を含めた理解を持ち、手洗い、手指消毒、検温、マスク着用を実施し、食堂ホール・栄養室・休憩所の換気を徹底して感染予防に努めた。配達時はアルコール消毒を携帯し、配達ごとに手指消毒を行い感染予防に努めた。

(5) 年間行事食 特 養

月	行事	行事食
4月	浜下り 手作りおやつ 誕生会	うっちん御飯・アーサ汁・三月菓子 もちもちドーナツ 小豆御飯・豚軟骨煮付け ケーキセット
5月	ゴーヤーの日 母の日 手作りおやつ 誕生会	ゴーヤーチャンプルー 古代米・中味汁 蒸しケーキ 小豆御飯・豚肉煮付け ケーキセット
6月	父の日 誕生会 手作りおやつ	古代米・揚げ出し豆腐・中味汁 小豆御飯・アボカドサラダ・ケーキセット 黒糖カステラ
7月	七夕会 誕生会 土用の丑 手作りおやつ	モーウィイリチャー・冷ソーメン 小豆御飯・ポークソテー・ケーキセット うな井・すりみ天ぷら・あさり汁 ゼリー
8月	旧盆ウンケー 誕生会 手作りおやつ	ウンケージュシー、ソーキ汁 小豆御飯・ポークソテー・ケーキセット 卵蒸しパン
9月	旧盆ウークイ 敬老会 誕生会	小豆御飯・盛り合わせ 小豆御飯・煮付け・ 小豆御飯・スーチカー・ケーキセット

	手作りおやつ	パンプディング
10月	運動会 誕生会 そばの日 手作りおやつ	三食御飯・スパゲティ 赤飯御飯・中味汁 沖縄そば・かき揚げ おからドーナツ
11月	誕生会 手作りおやつ	小豆御飯・魚のカレー焼き・ケーキセット ぜんざい
12月	誕生会 クリスマス 手作りおやつ	小豆御飯・沖縄風味噌汁・ケーキセット スパゲティ・チキン・ケーキ 水ようかん
1月	元 旦 七 草かゆ 誕生会	小豆御飯・盛り合わせ・ 七草かゆ・沖縄風みそ汁 小豆御飯・切干大根炒め煮・ケーキセット
2月	節 分 バレンタイン 手作りおやつ 旧 正 誕生会	ミニちらし寿司・田芋りんがく ハートプリン 三月菓子 古代米・煮豆・鹿ムルチ ちらし寿司・豚肉煮付け・ケーキセット
3月	ひな祭り 誕生会 手作りおやつ	ちらし寿司・甘納豆・ゼリー 小豆御飯・焼肉・ケーキセット さつま芋ようかん

年間行事食 デイサービス

月	行事	行事食
4月	浜下り 手作りおやつ 誕生会 カフェタイム	うっちゃん御飯・アーサ汁・三月菓子 クレープ 古代米・煮付け・ケーキセット ケーキセット
5月	ゴーヤーの日 母の日 手作りおやつ 誕生会 カフェタイム	ゴーヤーチャンプルー 古代米・中味汁 ヒラヤチー てびちの煮付け・ケーキセット ケーキセット
6月	手作りおやつ 父の日 誕生会 カフェタイム	たまごサンド 古代米・揚げ出し豆腐・蒸しケーキ 古代米・中味汁・ケーキセット ケーキセット
7月	七夕会 手作りおやつ 誕生会 土用の丑 カフェタイム	モーウィイリチャー・冷ソーメン ゼリー 古代米ケーキセット うな井・すりみ天ぷら・あさり汁 ケーキセット

8 月	手作りおやつ 夏祭り 誕生会 カフェタイム 旧盆ウンケー	サーターアンダギー 親子どんぶり・ぜんざい ソーメンイリチャー・ケーキセット ケーキセット ウンケージュシー、ソーキ汁
9 月	手作りおやつ 旧盆ウークイ 敬老会 誕生会 カフェタイム	ヒラヤチー 小豆御飯・盛り合わせ ちらし寿司・天ぷら・煮豆 古代米・揚げ出し豆腐・ケーキセット ケーキセット
10 月	手作りおやつ そばの日 運動会 誕生会 カフェタイム	プリン 沖縄そば・かき揚げ ゆかり御飯・豚カツ・大学芋 三色そばろ・魚汁・ケーキセット ケーキセット
11 月	手作りおやつ 誕生会 カフェタイム	フレンチトースト うま煮・かぼちゃ甘煮・ケーキセット ケーキセット
12 月	手作りおやつ 誕生会 クリスマス カフェタイム	チジミ 五目ごはん・いなむるち・ケーキセット スパゲティ・チキン・ケーキ ケーキセット
1 月	正月 七草かゆ 手作りおやつ 誕生会 カフェタイム	小豆御飯・盛り合わせ・ 七草かゆ・沖縄風みそ汁 ポーポー 山菜栗御飯・豆腐きのこあん・ケーキセット ケーキセット
2 月	手作りおやつ 誕生会 カフェタイム 旧 正 節 分 バレインティン	フレンチトースト すり身天ぷら・豚汁・ケーキセット ケーキセット 古代米・煮豆・鹿ムルチ ミニちらし寿司・田芋りんがく ハートプリン
3 月	ひな祭り 誕生会 手作りおやつ カフェタイム	ちらし寿司・甘納豆・ゼリー レバー炒め・揚げ出し豆腐・ケーキセット ギョーザの皮ピザ ケーキセット

在宅サービス 緑樹苑デイサービスセンター 事業報告

1. 総括

令和 2 年度は機能訓練指導員と看護師の新規採用により、機能訓練加算の取得や、医療的依存度の高い利用者の新規獲得に繋げることができた（喀痰吸引、胃瘻経管栄養、インスリン注射等）。また、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から定期的に受け入れをしているボランティアや地域の余興ボランティアの受け入れ、学童クラブとの交流を自粛したことで、利用者の楽しみが軽減しない様に事業所内で可能な行事や余暇活動を実施し活動の充実を図った。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言下では感染予防対策を強化しサービスの提供は継続して行った。利用者、職員の感染者はなかった。

2. 運営状況

令和 2 年度の事業目標は、1 日平均 29 人以上、月間延利用者数 720 人以上に対し、実績 1 日平均 26 人、月間平均延利用者数 670 人となり事業目標達成は出来なかった。その要因として、県の緊急事態宣言下で、家族や利用者の希望でサービスを自粛された利用者が 9 名、延べ 138 名（1 日平均 5 名）で全体の 1.7%となったことや、利用日数が多い利用者が自宅で転倒し、リハビリ病院での長期入院（3 名）や施設入所（7 名）の利用中止が重なった。

3. 事業状況

（1）サービスの質の向上

①個別支援を図る為、相談員が主体となり家族やケアマネ、他事業所も含む他職種の連携を図る。

→送迎時を利用してご家族と会話を多く取るようにし、ご家族の要望や相談等を職員全員で情報を共有。また、独居の利用者の様子など担当ケアマネージャーと連絡を密に取り連携を図った。

②行事やレク活動、脳トレーニング、手工芸等を、利用者がより楽しむことができるように部内会議での検討や研修会に参加し新しい情報を取り入れる。

→新型コロナ感染予防のため、外部講師やボランティアによる手工芸、ハンドマッサージ等は休止したが、デイサービス内の行事は計画どおり実施した。また、脳トレーニングやパズルの購入、タブレットを活用したゲーム等を展開し利用者がマンネリ化しない様に務めた。

③地域包括支援センターと連携し、外部余暇ボランティアを活用する事で地域との繋がりを広げるとともに利用者に変化のある多様な楽しみを提供する。

→新型コロナ感染予防のため、外部余暇ボランティアの受け入れはしなかった。楽しみを提供できる様に大型スクリーンの活用や職員による民謡ショーの機会を多くした。

④ドライブや苑内散歩等を実施し、心身機能の活性化を図る。

→6月に遠遊会を予定していたが大雨の為、実施できなかった。苑内散歩は毎日実施し、季節の草花の鑑賞など、利用者から好評を得た。

⑤学童クラブと日常的に交流をする環境を作り世代交流を楽しむ。

→新型コロナ禍の交流方法を検討。ガラス越しに、7月に七夕会及び新一年生のお披露目を兼ねた交流会を実施、10月にはハロウィーン交流会を実施した。

⑥食事無料化を継続し経済的負担を軽減する事で利用しやすいデイサービスに努める。

→他事業所からの問い合わせや相談が増え、新規利用者は16名（令和元年14名）と、新規獲得や利用日の増に繋げることができた。

⑦メドマーやマッサージ機を導入し、血行促進やくつろぎの時間を提供する。

→フットマッサージャー及びフットタタキを購入。機能訓練指導員や看護師による血行促進や指圧マッサージと組み合わせながら行い、利用者のくつろぎの時間を提供することができた。

（2）人員の確保及び育成

①専門学校やハローワーク・求人誌等に機能訓練指導員の求人活動を行う。

→ハローワークを中心に求人を行い、4月に1名採用をした。

②法人内外の研修や各専門職の研修、勉強会に参加し専門職としての資質向上に努める。

→法人内の研修や法人外はオンライン研修等、勤務調整で積極的に参加した。

③介護実務者研修者の経費に係る助成を行い介護福祉士の資格取得を増やす。

→介護実務者研修に介護員職員1名が参加。

（3）業務改善

①タブレット端末を導入し記録の簡素化、効率化を図る。

→タブレット端末の活用で褥瘡等の治癒状態などの確認が容易になり、利用者、ご家族様と共に情報を共有することができた事や、ケアパレットの活用により記録時間の軽減が図れた。

②プロジェクターを活用しレクリエーションの充実を図る。

→大型スクリーンを使用した映写会では利用者からのリクエスト（映画やうちな一芝居等）など聞きながら行い、好評を得ることができた。

（4）リスクマネジメント

①防災マニュアルに沿って法人内の防災訓練への参加や、デイサービス内でも月2回の防災訓練を継続し防災や緊急時への意識づけを図る。

→新型コロナウイルス感染予防の為、法人内の防災訓練は職員のみ参加。デイサービス内で利用者也交え防災訓練（月1～2回）を実施し意識づけを図った。

②インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症、食中毒の予防及び蔓延防止に関する勉強会を行い、予防を図る。

→毎日の申し送りで県内の感染状況や沖縄市内の感染状況や行政からの配信文書等を活用し全職員で情報を共有した。送迎車両乗車前の検温や、利用者へマスク着用の促し、手指消毒やパーテーションの活用、職員による消毒作業を徹底し予防に努めた。

4. 行事・活動等

(行事・イベント)

4 月	手作りおやつ会 (9 日)	27 名
	カフェタイム	23 名
	誕生会 (17 日)	22 名
	防災訓練 (22 日)	22 名
5 月	母の日会 (8 日)	20 名
	手作りおやつ会 (11 日)	22 名
	防災訓練 (13 日)	21 名
	カフェタイム (15 日)	21 名
	誕生会 (19 日)	27 名
6 月	手作りおやつ会 (10 日)	28 名
	防災訓練 (11 日)	24 名
	父の日会 (18 日)	28 名
	誕生会 (20 日)	30 名
7 月	学童七夕交流会及び新一年生お披露目会 (7 日)	27 名
	手作りおやつ会 (9 日)	26 名
	防災訓練 (9 日)	26 名
	カフェタイム (15 日)	24 名
	誕生会 (23 日)	31 名
8 月	夏まつり (6 日)	25 名
	手作りおやつ会 (11 日)	31 名
	防災訓練 (13 日)	27 名
	職員による三線ショー (14 日)	27 名
	カフェタイム (15 日)	29 名
	防災訓練 (26 日)	23 名
	誕生会 (28 日)	28 名

9 月	手作りおやつ会（10 日）	26 名
	誕生会（12 日）	29 名
	カフェタイム（15 日）	30 名
	敬老会（18 日）	28 名
	防災訓練（23 日）	23 名
10 月	防災訓練（8 日）	30 名
	手作りおやつ会（12 日）	28 名
	誕生会（14 日）	28 名
	運動会（20 日）	29 名
	防災訓練（21 日）	24 名
	学童ハロウィン交流会（31 日）	25 名
11 月	総合防災訓練（10 日）	31 名
	手作りおやつ会（12 日）	27 名
	カフェタイム（16 日）	23 名
	誕生会（26 日）	26 名
12 月	手作りおやつ会（8 日）	27 名
	防災訓練（9 日）	28 名
	カフェタイム（15 日）	33 名
	クリスマス会（22 日）	33 名
	防災訓練（23 日）	23 名
1 月	書始め（4 日）	24 名
	新年会（12 日）	30 名
	防災訓練（8 日）	25 名
	カフェタイム（15 日）	27 名
	誕生会（16 日）	26 名
	手作りおやつ会（18 日）	22 名
	防災訓練（27 日）	23 名
2 月	節分豆まき（2 日）	27 名
	手作りおやつ会（10 日）	26 名
	防災訓練（11 日）	25 名
	職員による三線ショー（13 日）	25 名
	カフェタイム（15 日）	26 名
	誕生会（19 日）	26 名
	防災訓練（24 日）	25 名

3 月	ひなまつり会（3 日）	23 名
	三線の日、職員による三線ショー（4 日）	25 名
	手作りおやつ会（10 日）	24 名
	防災訓練（11 日）	26 名
	カフェタイム（15 日）	21 名
	誕生会（23 日）	32 名
	防災訓練（24 日）	22 名

（職員研修、勉強会等）例

月	場 所	研修・勉強会名	参加人数
4 月	緑樹苑デイサービス	相談員会議（2 日）	3 名
	緑樹苑デイサービス	部内会議（3 日）	8 名
5 月	緑樹苑デイサービス	部内会議（4 日）	9 名
	緑樹苑デイサービス	相談員会議（29 日）	3 名
6 月	緑樹苑デイサービス	部内会議（5 日）	8 名
	緑樹苑会議室	中堅職員研修（19 日）	1 名
7 月	緑樹苑デイサービス	部内会議（6 日）	8 名
	緑樹苑会議室	新人研修（10 日）	2 名
	緑樹苑会議室	主任・係長研修（17 日）	2 名
8 月	緑樹苑デイサービス	部内会議（4 日）	9 名
	緑樹苑デイサービス	相談員会議（8 日）	3 名
9 月	緑樹苑デイサービス	部内会議（8 日）	9 名
10 月	緑樹苑デイサービス	部内会議（5 日）	10 名
	緑樹苑会議室	新人研修（15 日）	2 名
	緑樹苑デイサービス	相談員会議（27 日）	3 名
11 月	緑樹苑会議室	主任・係長研修（20 日）	1 名
	緑樹苑デイサービス	相談員会議（23 日）	3 名
12 月	緑樹苑デイサービス	部内会議（7 日）	8 名
	緑樹苑会議室	中堅職員研修（17 日）	1 名
1 月	緑樹苑デイサービス	部内会議（8 日）	10 名
	緑樹苑デイサービス	相談員会議（22 日）	3 名
2 月	緑樹苑デイサービス	部内会議（8 日）	8 名
	緑樹苑デイサービス	相談員会議（26 日）	3 名
3 月	緑樹苑デイサービス	部内会議（8 日）	8 名
	緑樹苑デイサービス	AED 取り扱い説明会（16 日）	9 名

(その他)

	その他
4 月	辞令交付式・入社式 (1 日) 3 名
6 月	介護サービス基本研修 (26 日) 4 名
9 月	高齢者虐待防止研修 (17 日) 2 名
	5 法人勉強会「褥瘡、感染予防」 (27 日)
10 月	沖縄県医師会新型コロナウイルス感染症発生シミュレーション研修 (24 日) 1 名
11 月	法人内総合防災訓練 (22 日) 3 名
	就職フェス (29 日) 1 名
12 月	介護ロボット説明会 (3 日) 3 名
	ケアパレット説明会 (10 日) 1 名
2 月	初級リスクマネージャー養成講座 (9・10 日) 1 名
3 月	法人内総合防災訓練 (24 日) 2 名

6. 利用状況について

(1) 年間実績 (利用日数)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
日数	26	26	26	27	26	25	27
総合事業	47	21	24	37	37	38	43
要介護	573	589	706	703	638	624	687
延べ人数	620	610	730	740	675	662	730
稼働率	68.1	67.0	80.2	78.3	74.1	75.6	77.2
日平均	23.8	23.4	28	27.4	25.9	26.4	27
月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計/平均	
日数	25	26	24	24	27	309	
総合事業	40	43	28	16	17	391/32.5	
要介護	625	661	572	602	668	7648/637	
延べ人数	665	704	600	618	685	8039/669.9	
稼働率	76.0	77.3	71.4	73.5	72.4	74.3	
日平均	26.6	27.0	25.0	25.7	25.3	26.0	

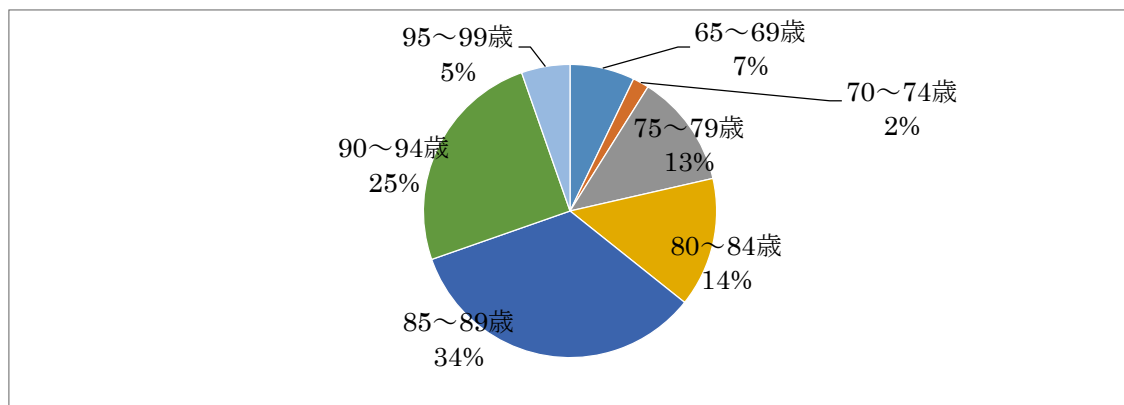
※稼働率は定員 35 名で算出

(2) 利用者の性別、要介護度別、年齢別の状況

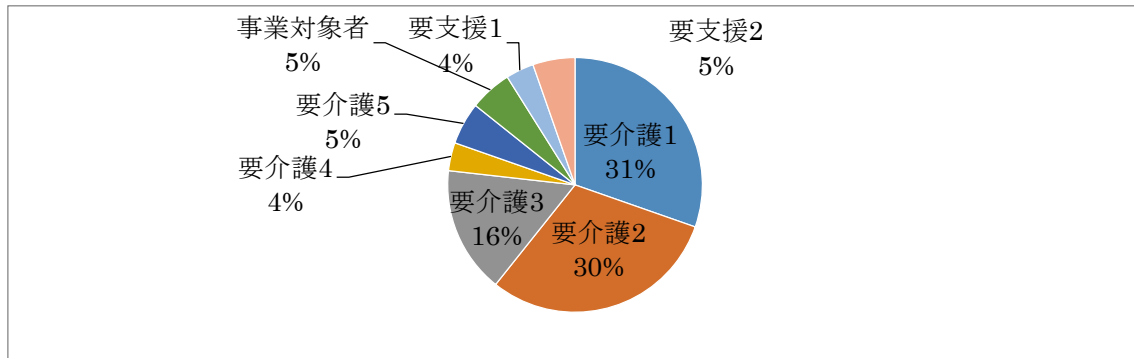
	事業対象者		要支援 1		要支援 2		計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
65～69 歳	0	0	0	1	0	0	0	1	1
70～74 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～84 歳	1	1	0	0	0	1	1	2	3
85～89 歳	0	1	0	1	0	1	0	3	3
90～94 歳	0	0	0	0	0	1	0	1	1
95～99 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	2	0	2	0	3	1	7	8
平均年齢	81	84.5	0	77.5	0	87.3	81	83.7	83.3

	要介護 1		要介護 2		要介護 3		要介護 4		要介護 5		計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
65～69 歳	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	2
70～74 歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
75～79 歳	1	1	0	2	0	3	0	0	0	0	1	6	7
80～84 歳	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	2	3	5
85～89 歳	0	5	2	4	0	5	0	0	0	0	2	14	16
90～94 歳	2	4	1	3	0	0	0	2	0	1	3	10	13
95～99 歳	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	3
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	12	4	13	0	9	0	2	1	2	10	37	47
平均年齢	83.6	88.2	87	87.7	0	83	0	93	68	88	83.6	87.1	86.3

年齢別状況



介護度別状況



(3) 新規・終了状況

	新規			終了				
	要支援	要介護	計	死亡	医療機関	施設入所	その他	計
4月	0	1	1	0	0	0	0	0
5月	0	1	1	0	0	0	0	0
6月	0	3	3	0	0	0	0	0
7月	1	1	2	0	0	0	0	0
8月	0	1	1	0	0	2	1	3
9月	0	0	0	0	0	1	0	1
10月	0	1	1	0	0	0	1	1
11月	0	2	2	0	1	2	0	3
12月	0	1	1	0	0	0	0	0
1月	0	1	1	0	0	1	0	1
2月	0	2	2	0	0	1	0	1
3月	0	1	1	0	0	0	1	1
合計	1	15	16	0	1	7	3	11

緑樹苑居宅サービス事業所（訪問介護・障害福祉）事業報告

1. 総括

利用者の心身の状況や利用者の意向による提供時間の追加等については、サービス調整を行い、利用者が在宅生活を維持できるように努めた。登録ヘルパーの高齢化に伴い退職（5名）が重なったことや、12月には管理者の退職やサービス提供責任者1名の休職もあり新規利用者依頼に対してすべて受けることは難しく、他事業所へ依頼したケースが5件あった。コロナ禍の中で利用を自粛した利用者は2名で他利用者は計画どおり利用、訪問時の体調確認や消毒等の徹底、部内勉強会の開催や家族・関係サービス・ケアマネ等との状況報告を密に行いサービスの提供に努めた。職員・利用者の感染者はゼロであった。

2. 運営状況

介護保険は471件（5850時間）の目標に対し、403件（5058時間）と86%の達成、総合事業は614件（2816時間）の目標に対し、461件（2565時間）と75%の達成となった。5人の登録ヘルパーの退職や常勤職員の休職に伴い、新規相談はあるものの、利用希望日や希望時間等が折り合わず、受け入れることができなかった。

障害福祉サービスは216件（4320時間）の目標に対し、150件（3658時間）の達成となった。重度の利用者は毎日2回の訪問があり時間数は増になったが、年末に住宅改修や家族の介護負担軽減でショートステイの長期利用があったことや、ショート後は入所に繋がった経過もあり目標達成には至らなかった。

3. 事業状況

（1）サービスの質の向上

①サービス提供時間の拡充を図り、新規利用者の獲得、及び既存利用者へのサービス提供時間にも柔軟に対応する。

→利用者の身体状況の変化の気づきや利用者要望に対し提供時間を拡充し柔軟に対応することができた。

②接遇に優れた事業所づくりを行う為、接遇に対するチェックシートを作成し自己評価を行う。

→10月に外部講師招き講習会を実施、チェックシートを作成し自己評価を行った。

③訪問介護員一人ひとりのスキルアップを図り、困難ケースの依頼にも柔軟に対応できるように努める。

→毎月の勉強会や個別勉強会を開催し、訪問介護員としての知識・技能のスキルアップが図られ職員の意欲に繋がった。また、必要に応じてサービス提供責任者が同行し困難ケースに対応できるように努めた。

④支援利用者の多様なニーズに応えられるよう、支援費の新規利用者増を目指す。

→相談等あったが、人材確保ができなかったことや登録ヘルパーの退職、常勤職員の休職も重なり、対応することが出来なかった。

⑤他事業所との連携とネットワークづくりを行うとともに、利用者への切れ目のないサービスの提供に努める。

→訪問看護事業所等と連携を密に取ることで、利用者への体調管理に万全を期すことができた。

⑥喀痰吸引等を要する利用者への対応に向けた取り組みを行う。

→喀痰吸引の研修を計画し研修について説明を受けたが訪問介護は対象とはならなかったことから参加はしていない。

(2) 人材の確保及び育成

①訪問介護員の確保に向けて、求人誌への掲載、横断幕等を利用し人員の確保を図る。

→職員の紹介により常勤ヘルパー1名(7月)、登録ヘルパー1名(2月)を採用した。

②接遇の向上に向けて自己評価チェックシートを基に評価を行い、サービスの質の向上に努める。

→自己評価チェックシートを基に面談等を行い接遇向上に努めた。

③困難ケース等の事例検討、勉強会等、毎月の定例会を通じて実施する。

→毎月の定例会の後、困難ケースの対応について実技を交え対応できるように努めた。

④サービス提供責任者による担当登録ヘルパーとの定期的な面談を行い、職員一人ひとりの心身の状況の把握に努め、辞めない職場づくりに取り組む。

→定期的に登録ヘルパーと面談を行い、一人ひとりの心身の状況確認や相談がしやすい雰囲気づくりに努めた。

⑤多様多様な業務を効率的にこなせるよう、サービス提供責任者を中心に業務の改善に向けて、ICT活用の勉強会を行う。

→12月にケアパレット説明会を実施。業務日誌(押印欄)について業務改善が見られないため保留とした。

⑥職員のスキルアップのため、喀痰吸引の研修に参加する。

→研修受講の要件である「特定の利用者」がいなかったことから、研修に参加できなかった。

(3) 業務改善

①事務業務の効率化

・管理者、サービス提供責任者、事業所としてそれぞれの事務業務を改めて整理、明確化し、事業所内での業務分担、作業手順等を見直していく。

→事業所内で管理者、サービス提供責任者の事務業務分担の見直しを行い、業務負担軽減や事務作業の効率化を図った。

・本部事務局で分業できる事務業務について調整をすすめ、事務負担の軽減を図るとともに、事務業務の合理化・効率化を図り、連携する事務体制を整備する。

→事業所内で事務業務の分担や調整にて解決に向けたことから、事務局との調整には至らなかった。

②スケジュール調整・対応体制の整備

→サービス提供責任者にスマートフォンを支給し、SNS を使用した連絡体制を整備。連絡事項やスケジュール調整等に、改善が見られた。

③業務の効率化を図る為に事業所内に複合機又はFAXを設置する。

→4月にFAX複合機を設置し、業務の効率化が図れた。

(4) リスクマネジメント

①利用者個々に想定される緊急時の対応マニュアルを具体的に作成する。

→急変などのリスクが高い利用者には緊急時マニュアルを個人台帳にファイルするとともに、利用者宅にも、掲示した。

②マニュアルを基に事故の予防（未然防止・再発防止）及び、事故後の対応等について訪問介護員全員が適切な対応が執れるよう指導を行っていくとともに、勉強会を実施し、周知徹底を図る。

→事故防止について既存の事故報告書をもって、定例会や勉強会で使用。再発防止に努めた。

③多職種との連携を強化し、利用者の異変に早期に気づき、緊急事態に適切に行動できるようにする。

→日頃からの状態や少しの変化など、家族や担当ケアマネージャー等と連携を密にとり、早期の病院受診等に繋げられるように努めた。

④災害時には利用者の安否確認を行い、家族や他事業所との情報共有が行える体制づくりを行う。

→台風などの災害時は、独居の利用者宅を訪問した状況を後日担当ケアマネージャーに連絡し情報を共有した。

⑤感染症（インフルエンザや新型コロナウイルス、ノロウイルス等）の勉強会の開催や日頃から意識を持ち予防に努める。

→新型コロナウイルス感染症予防対策については、事業所内会議の開催や4月・2月に登録ヘルパーに資料を配布し周知した。利用者宅訪問時は利用者の体調確認や消毒・換気等常に緊張感を持って予防に努めた。

4. 行事・活動等

(職員研修、勉強会等)

※新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、4月、5月、7月、8月、1月、2月は開催せず資料を配布した。

月	場 所	研修・勉強会名	参加人数
4 月	在宅ワーク	課内勉強会 「新型コロナ感染症について」 実技指導 「利用者への声掛け方」	19 名
5 月	在宅ワーク	課内勉強会 「食中毒について」 実技指導 「パップ剤の使用法」	19 名
6 月	会議室	課内勉強会 「熱中症対策について」 実技指導 「清拭介助」	19 名
7 月	在宅ワーク	課内勉強会 「ヒヤリハットについて」 実技指導 「報告書記入方法」	20 名
8 月	在宅ワーク	課内勉強会 「緊急時の対応について」 実技指導 「入浴介助術」	20 名
9 月	デイサービス	講習 「人間の尊厳について」 オフィステルヤ 照屋裕子氏を招いて研修	20 名
10 月	デイサービス	講習 「個人情報保護について」 オフィステルヤ 照屋裕子氏を招いて研修	18 名
11 月	デイサービス	講習 「障害の特徴・接遇について」 オフィステルヤ 照屋裕子氏を招いて研修	19 名
12 月	会議室	課内勉強会 「認知症について」 実技指導 「パーキンソン病状の方の介護技術」	17 名
1 月	在宅ワーク	課内勉強会 「虐待防止について」 実技指導 「正しいマナー」	17 名
2 月	在宅ワーク	課内勉強会 「感染症対策について」 実技指導 「防護具着用方法」	17 名
3 月	デイサービス	課内勉強会 「スライディングボードの使い方」 実技指導 「スライディングボードの使用実技」	16 名

5. 利用状況について

(1) 年間実績（利用日数）

	介護保険		障害福祉サービス	
	訪問介護	総合事業サービス	居宅サービス	移動支援

	利用 者数	提供 回数	利用 者数	提供 回数	利用 者数	提供 時間	利用 者数	提供 回数
4 月	35	441	44	199	14	293	2	6
5 月	34	405	40	191	14	296	1	3
6 月	35	454	40	224	13	296	1	4
7 月	35	484	41	246	13	303	2	6
8 月	35	449	41	217	14	249	1	4
9 月	34	430	41	263	13	278	1	5
10 月	33	471	40	230	14	263	1	4
11 月	31	415	41	214	12	261	1	4
12 月	29	403	38	215	12	269	1	5
1 月	29	394	35	187	11	254	1	4
2 月	30	369	29	184	10	233	1	4
3 月	30	427	33	200	11	219	1	3
合計	390	5142	463	2570	151	3214	14	52
平均	32	428	77	214	12	267	1.2	4.3

(3) 利用者の性別、要介護度別、年齢別の状況

総合事業

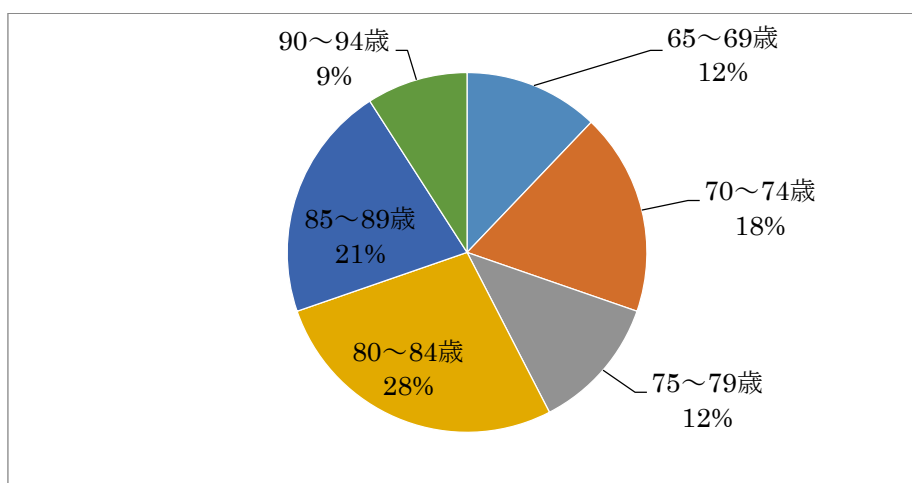
	事業対象者		要支援 1		要支援 2		計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
63～69 歳	0	1	2	1	0	0	2	2	4
70～74 歳	2	0	0	1	0	3	2	4	6
75～79 歳	1	1	0	0	2	0	3	1	4
80～84 歳	1	0	0	5	1	2	2	7	9
85～89 歳	0	0	1	2	0	4	1	6	7
90～94 歳	0	0	0	1	0	2	0	3	3
95～99 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	2	3	10	3	11	10	23	33
平均年齢	74	74	73	80	78	83	75	79	77

要介護者

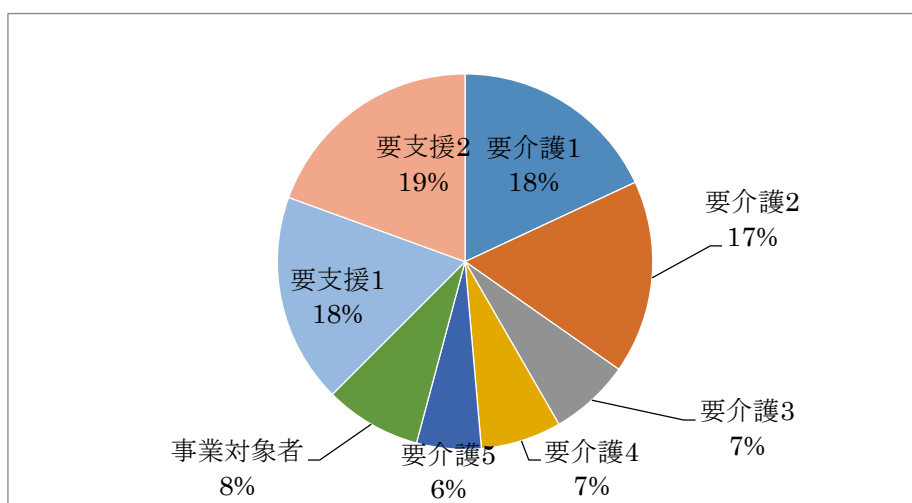
	要介護 1		要介護 2		要介護 3		要介護 4		要介護 5		計		総合 計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
55～64 歳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

65～69 歳	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
70～74 歳	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	4	4
75～79 歳	1	0	0	4	0	1	0	0	0	1	1	6	7
80～84 歳	1	3	1	2	1	1	0	2	1	0	4	8	12
85～89 歳	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	2	4	6
90～94 歳	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	2	3	5
95～99 歳	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	2
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	10	2	10	2	3	0	5	3	1	10	29	39
平均年齢	87	79	86	81	83	76	0	80	88	78	86	78	82

年齢別状況



介護度別状況



(3) 新規・終了状況

介護保険

	新規			終了				
	総合事業	要介護	計	死亡	医療機関	施設入所	その他	計
4月	1	1	2	0	0	0	0	0
5月	0	1	1	1	0	0	0	1
6月	2	1	3	0	0	1	2	3
7月	3	0	3	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	1	0	0	1	2
9月	1	0	1	0	1	0	1	2
10月	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	3	3
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	1	0	1	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	3	12	2	1	1	7	11

障害福祉サービス

	新規		終了				
	支援費	計	死亡	医療機関	施設入所	その他	計
4月	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	1	1
7月	1	1	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0
9月	1	1	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	2	2
11月	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	1	3	4
合計	2	2	0	0	1	6	7

緑樹苑指定居宅介護支援事業所 事業報告

1. 総括

令和 2 年度はコロナ禍の状況により、利用者宅や施設の訪問に関して自粛依頼があり電話等での状況確認やファックスや電話を活用し会議を開催した。6 月に派遣を予定していた主任介護専門員更新研修が中止になり主任介護支援専門員の資格が 2 年間の経過措置となる。沖縄県、沖縄市支部等の研修はオンライン研修に代わったことからオンライン研修に積極的に参加した。

2. 運営状況

令和 2 年度は、月平均プラン件数が 128 件（介護 104 件、予防・総合 24 件）を目標に立て各関係機関への営業活動を行ったが、コロナの状況によりサービス利用を休止するケース（3 名・4 ヶ月）や相談を受けても直ぐにサービス開始をしないケース、長期入院・施設入所等もあり、月平均プラン件数が 111 件（介護 98 件、予防・総合 13 件）で目標を達成することができなかった。

3. 事業状況

（1）サービスの質の向上

①介護保険制度や地域資源を活用し、その人が望む暮らしを実現できるように支援を努める。

→新型コロナウイルス感染症予防リスク軽減のため、通所サービスを自粛する利用者に関しては訪問系サービスや給食サービス等の提案を行い支援に努めた。

②各関係機関が開催する障害福祉に関する研修や勉強会に参加し知識を習得する。

→新型コロナ感染症拡大防止対策で障害福祉の研修は参加できなかったが、事業所内で障害福祉サービスに関する勉強会を開催した。

③各関係機関と連携しスムーズに支援が行えるように努める。

→各地域包括支援センターの多職種やサービス関係機関との連携を図り介護保険サービス以外の地域における様々な社会資源を活用できるように情報交換やネットワーク構築に努めた。

④24 時間連絡が取れる体制を確保し緊急時に努める。

→各介護支援専門員が 24 時間携帯電話を所持し緊急時の相談対応を行った（年 40 件）

（2）人材の育成

①ハローワーク、求人誌へ掲載し介護支援専門員を採用しプランのニーズに応じる。

→ハローワークへ求人を掲載したが応募が無く、介護支援専門員の増員には至らなかった。

②介護支援専門員の経験に応じた個別の研修計画を策定し、実施する。

→各介護支援専門員の経験に応じた研修計画を策定した。主任介護支援専門員更新研修を1名予定していたが、コロナ感染拡大防止の対策のため、中止となった。オンライン研修の案内に対し積極的に参加した。

③週1回以上、事業所内の勉強会や他居宅介護支援事業所との共同研修会を開催し多様なケースも対応できるように努める。

→週1回、事業所内で問題解決、資質向上の目的をもって事例検討会を開催した。他居宅介護支援事業所との共同研修会を開催し、多様なケースの意見交換や相互に情報交換を行うとともに、問題解決策を学ぶことができた。

④基幹型・地域包括支援センターが開催する「自立支援・地域ケア会議」の事例提供や事例検討会に積極的に参加し、介護支援専門員としての専門性を高める。

→新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で基幹型・地域包括支援センターが開催する事例検討会の開催が無かった。

(3) 業務改善

①パソコンの文書作成機能を活用し記録等の入力時間を短縮する。

→ソフト会社から音声入力ソフトウェア活用機能の提案を受け、居宅内で検討したが居宅では適しないため、保留とした。

②利用者や家族等の相談に合わせ柔軟に勤務体制を調整し、効率的に業務が行えるようにスケジュール管理を徹底する。

→臨機応変に柔軟な勤務体制を取ることで利用者や家族等の相談や会議等は効率よく行えた。

(4) リスクマネジメント

①利用者や家族からの改善要求等の相談がある場合は、速やかに事業所で情報共有し苦情に繋がらないようにする。苦情の内容、状況によって第三者委員会へ提案、報告を行う。

→苦情0件。各介護支援専門員が苦情になる前に利用者、家族とコミュニケーションを密に取るように努めた。

②事故マニュアルを定期的に確認しトラブル防止に努める。

→事故0件。事故発生後のマニュアルは連絡網をわかりやすく作成しマニュアルに沿って実施した。

③毎朝、車両点検を実施しトラブル防止に努める。

→車両事故0件。毎朝、車両点検を実施し支障がある場合は車両担当が整備工場に連

絡しはやめに修理等の対策に努めた。

④個人情報の漏洩防止を徹底する。

→利用者ファイルは鍵付き書棚に収納し個人情報の漏洩防止に努めた。

⑤インフルエンザや新型コロナウイルス、ノロウイルス等の感染予防に努める。

→感染ゼロ件。手洗い、消毒を徹底している。外出時は消毒液を携帯し適時消毒を行い感染予防対策に努めた。マスク着用、事業所内・車両の消毒・換気を徹底し感染予防対策に努めた。

4. 行事・活動等

(職員研修)

月	場 所・日	研 修 名	参加人数
4 月			0 人
5 月			0 人
6 月	緑樹苑会議室 (19 日)	令和 2 年度 緑樹会 中堅職員研修 I	1 人
	緑樹苑デイサービス (26 日)	令和 2 年度 緑樹会 介護基本サービス研修	4 人
7 月	緑樹苑会議室 (17 日)	令和 2 年度 緑樹会 係長・主任等研修	1 人
8 月	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン (24 日)	令和 2 年度 中部地区医師会 在宅医療介護 連携推進支援センター 新型コロナウイルス 感染症研修	2 人
9 月	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンラインにて (18 日)	令和 2 年度 第 1 回沖縄県介護支援専門員協 会沖縄市支部 新型コロナウイルスについて	2 人
10 月	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン (24 日)	令和 2 年度 中部地区医師会 在宅医療介護 連携推進支援センター 新型コロナウイルス 感染症発症シミュレーション研修	2 人
11 月	緑樹苑会議室 (13 日)	令和 2 年度 緑樹会 ステップアップ研修 I	1 人
12 月	緑樹苑会議室 (17 日)	令和 2 年度 緑樹会 中堅職員研修 I	1 人
1 月	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン (15 日)	第 12 回 日本介護支援専門員協会九州・沖縄 ブロック研究大会in沖縄	4 人
2 月	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン (9 日) (16 日)	令和 2 年度 沖縄県多職種連携ケアマネジメ ント研修	1 人
3 月	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン (19 日)	令和 2 年度第 2 回沖縄県介護支援専門員協会 沖縄市支部 ケアマネジャープレゼント大会	4 人
	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン (31 日)	沖縄県介護支援専門員協会 令和 3 年度 介 護報酬改定伝達説明会	4 人

(定期部署内勉強会)

月	日	勉強会名	参加人数
4月	7日、14日、21日、28日	新型コロナウイルス感染症に係る介護支援専門員の業務内容に関する臨時的な取り扱いについて	4人
5月	4日、12日、18日、26日、	事例検討会・新型コロナウイルス感染症拡大防止 臨時的な取り扱いについて	4人
6月	2日、9日、16日、23日、 30日	事例検討会・新型コロナウイルス感染症拡大防止 臨時的な取り扱いについて	4人
7月	7日、14日、20日、28日	事例検討会	4人
8月	4日、11日、18日、25日	事例検討会・新型コロナウイルス感染症拡大防止 臨時的な取り扱いについて	4人
9月	2日、8日、15日、22日、29日	事例検討会	4人
10月	6日、13日、20日、27日	事例検討会	4人
11月	2日、9日、17日、24日、	事例検討会	4人
12月	1日、8日、15日、23日、29日	事例検討会	4人
1月	5日、12日、19日、26日	事例検討会	4人
2月	3日、9日、16日、23日	事例検討会	4人
3月	2日、9日、16日、23日、30日	事例検討会	4人

(共同事例検討会) 他法人居宅介護支援事業所との定期事例検討会

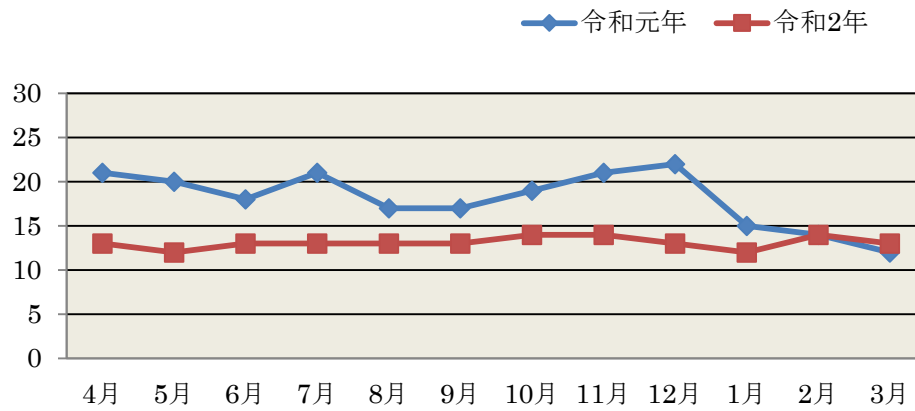
月	場 所・日	勉強会名	参加人数
11月	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン (10日)	事例検討会	4人

5. 利用状況について

(1) 年間実績 (介護予防・総合事業)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
介護予防	11人	11人	11人	11人	11人	11人	12人
総合事業	2人	1人	2人	2人	2人	2人	2人
実績人数	13人	12人	13人	13人	13人	13人	14人
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
介護予防	12人	11人	11人	13人	13人	138人	
総合事業	2人	2人	1人	1人	0人	19人	
実績人数	14人	13人	12人	14人	13人	157人	

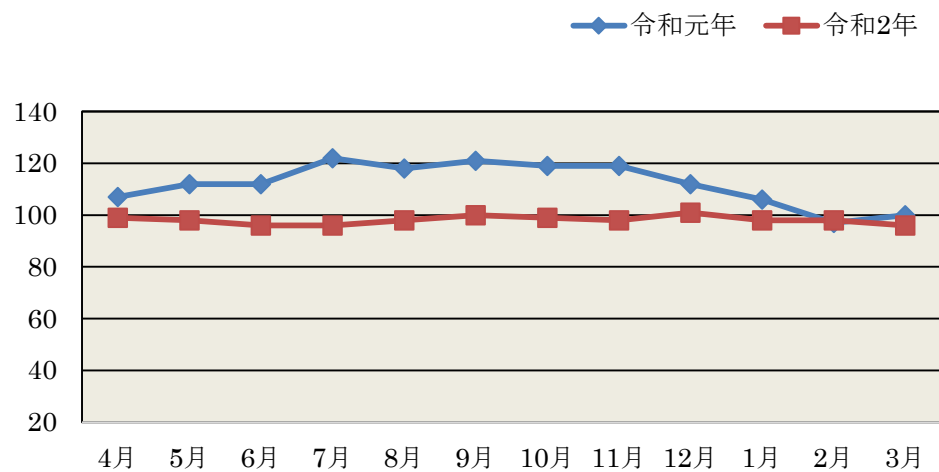
介護予防・総合事業実績 前年度比較



(2) 年間実績 (要介護度 1～5)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用者数	102人	102人	100人	100人	100人	102人	103人
実績人数	99人	98人	96人	96人	98人	100人	99人
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数	100人	102人	100人	100人	100人	1211人	
実績人数	98人	101人	98人	98人	96人	1177人	

要介護実績 前年度比較



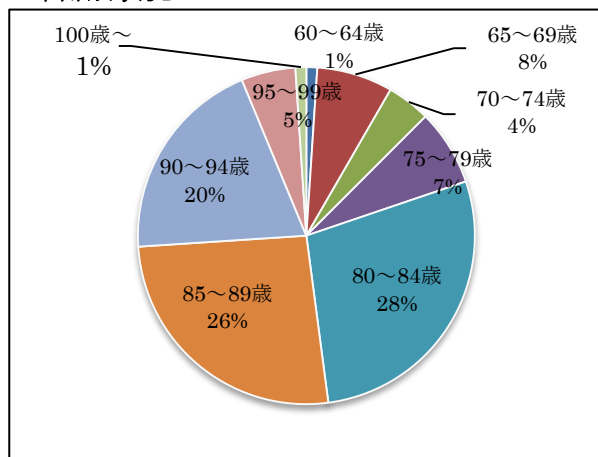
年齢	要支援 1		要支援 2		事業対象者		計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
65～69 歳	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	1人	1人
70～74 歳	0人	0人	0人	2人	0人	0人	0人	2人	2人

75～79 歳	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	1 人
80～84 歳	1 人	1 人	1 人	0 人	0 人	0 人	2 人	1 人	3 人
85～89 歳	3 人	1 人	0 人	2 人	0 人	0 人	3 人	3 人	6 人
90～94 歳	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
95～99 歳	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
100 歳以上	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
計	4 人	3 人	1 人	5 人	0 人	0 人	5 人	8 人	13 人
平均年齢	85.3	82.3	82	78	0	0	84.6	79.7	81.6

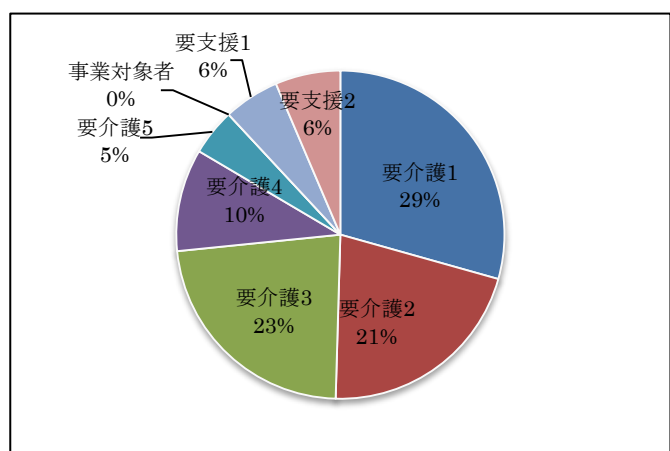
(要介護 1～5) 3 月現在

年齢	要介護 1		要介護 2		要介護 3		要介護 4		要介護 5		計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
60～64 歳	0 人	0 人	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	1 人
65～69 歳	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	2 人	3 人	0 人	1 人	0 人	5 人	2 人	7 人
70～74 歳	0 人	1 人	1 人	0 人	1 人	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	2 人	2 人	4 人
75～79 歳	0 人	2 人	0 人	2 人	0 人	3 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	7 人	7 人
80～84 歳	4 人	6 人	2 人	7 人	1 人	2 人	0 人	2 人	1 人	2 人	8 人	19 人	27 人
85～89 歳	2 人	12 人	2 人	1 人	2 人	4 人	0 人	1 人	0 人	1 人	6 人	19 人	25 人
90～94 歳	2 人	2 人	0 人	5 人	1 人	6 人	0 人	3 人	0 人	0 人	3 人	16 人	19 人
95～99 歳	0 人	0 人	0 人	2 人	0 人	1 人	1 人	1 人	0 人	0 人	1 人	4 人	5 人
100 歳以上	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	1 人
計	9 人	23 人	5 人	18 人	5 人	20 人	4 人	7 人	2 人	3 人	25 人	71 人	96 人
平均年齢	83.6	84.5	81	84.4	84.2	85.3	75.5	89.7	74	84	81.2	85.2	84.1

年齢別状況



介護度別状況



沖縄市地域包括支援センター西部北 事業報告

1. 総括

西部北圏域（八重島、センター、胡屋、園田、中の町）の総人口は15,267人、高齢者数4,238人、高齢化率27.75%。高齢化率、後期高齢化率、ひとり暮らし高齢者の割合、要介護認定率が他圏域と比較して高い圏域となっている。

令和2年度は包括的支援事業（総合相談・地域包括支援ネットワーク構築・実態把握等）の周知として、年間通して西部北（ぬちぐすい）新聞を発行し地域住民や関係機関等へ配布、法人HPや広報誌「竹とんぼ」の掲載等を活用し地域住民や企業、関係団体の定例会にて周知活動を行った。認知症総合支援事業は認知症に関する普及啓発活動として、西部地区合同パネル展の開催と認知症パネル展を開催した。

在宅福祉サービス事業及び生活支援に係るサービス事業は、介護予防等把握業務の実態把握調査の繋ぎから一般介護予防事業、サロン、関係機関（保護課、社協、介護支援専門員、病院相談員、他支援機関）に情報共有、連携を行った。随時、在宅福祉サービス調整会議（三職種、実態把握等業務担当、生活支援コーディネーターで構成）を開催し高齢者の地域における自立した日常生活支援（通院サービス事業、配食サービス事業、見守り、安否確認等）に移行支援を行った。

2. 運営状況

令和2年度におけるプラン件数は包括西部北の件数は1645件、委託先の件数は429件となった。当初の目標1890件数と見込んだ計画のプラン件数値は245件減少となった。対前年度比は包括西部北の件数は57件減少、委託先の件数は146件減少となった。

※（9）指定介護予防支援事業 参照

3. 事業状況

①生活支援サービス体制整備の周知のため公民館やサロン、地域住民から聞き取りを行い「高齢者の通える場」づくりの推進に努める。

⇒沖縄県緊急事態宣言、行政から自粛要請で公民館サロン活動は中止となり、百歳体操、サロンの継続支援、地域住民活動の場（通いの場）の交流も制限されたが、開催時にはコロナ禍での高齢者の情報収集に努めた。

②見守りサポーター養成講座の開催、自治会の福祉連絡会に参加し地域ニーズ、資源の把握と法人との関係性を継続できるように交流を図る。

⇒見守りサポーター養成講座は新型コロナウイルス感染予防対策で延期している。法人事業所とボランティアの調整を図ったが実施に至らなかった。

③地域の住民、高齢者を対象に介護予防、認知症予防等に関する講座（出前講座）を開催し介護予防の推進啓発を図る。

⇒若年層を対象に地域ボランティアへの意識開発のための講座を開催した。

開催日：7月18日

場 所：ももやま子ども食堂

④社会福祉士の実習生を受け入れ法人事業所（特養ホーム、ケアハウス、通所介護、訪問介護、居宅介護事業所）と連携し学生の教育、育成に取り組む。

⇒沖縄国際大学、沖縄総合医療学院との実習契約書類を整え6月に「相談援助実習」の配属実習に関する委託契約書（法人と大学）を締結したが、新型コロナウイルス感染予防対策の観点から実習生の受け入れは協議の上中止となった。

4. 業務内容

（1）総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

介護サービスや医療サービス等を適切に利用できるように、介護事業者、医療機関、民生児童委員協議会、社会福祉協議会等との関係機関と連携し高齢者支援のためにネットワーク構築を図った。

②介護予防等把握

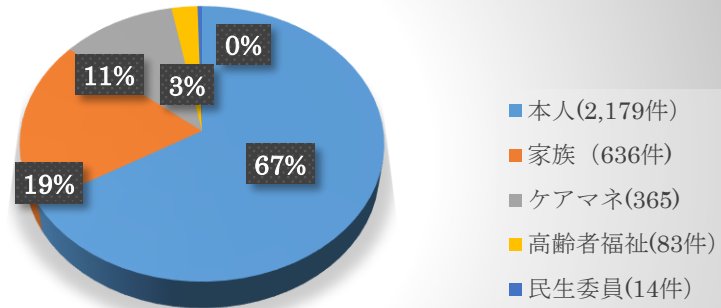
実態把握	延べ件数	実人数
令和元年度実績	726人	439人
令和2年度実績	432人	285人

沖縄市からのリストを基に高齢者独居世帯、同居世帯を訪問し基本チェックリストや介護予防等実態把握を行った。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い訪問業務をポスティングに変更し取り組んだ。実態把握の啓発活動の一環として生活支援コーディネーターと連携しながら、65歳以上の高齢者を対象にコロナ関連と自宅で出来る運動、熱中症予防の内容チラシを641枚配布した。

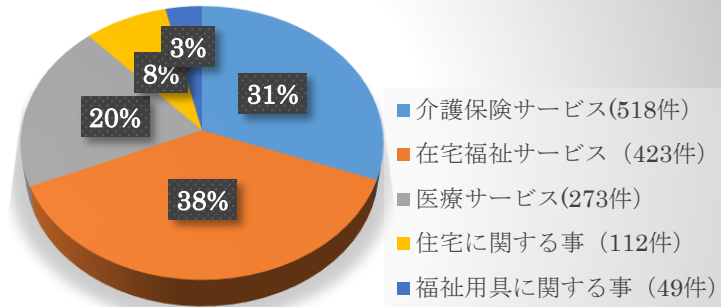
③総合相談支援

総合相談件数	実人数	延べ件数
令和元年度実績	1,762人	4,818件
令和2年度実績	1,507人	4,486件

相談者続柄



相談内容



相談実績は（相談者続柄別）：本人が最も多く、家族、介護支援専門員が多かった。（相談内容別）：介護保険サービスに関する事、在宅福祉サービスに関する事が多く、次いで、医療機関に関する事、住宅に関する事の相談が多かった。地域からの相談を円滑に受け入れ適切な制度、関係サービスにつなぐとともに継続的な相談支援を行った。

（２）権利擁護業務

①成年後見制度の利用促進、②高齢者虐待への対応、③消費者被害の防止

高齢者虐待の防止及び対応

虐待認定	虐待認定に至らなかった	合計相談件数
2	1	14

老人福祉施設等への措置の支援

老人福祉施設等への措置の支援	支援件数
0	0

相談・通報者の内訳：医療従事者0件、介護支援専門員2件、介護サービス事業所

1件、親族、行政職員となっている。被虐待者との続柄：被虐待者との関係では、息子が1件、知人が1件となっている。虐待の対応策：虐待判断時点で入院中の事例が1件となっている。権利擁護業務の内、①の成年後見制度相談が19件となっている。②の虐待の対応においては早期発見・早期対応とし「高齢者虐待対応のマニュアル」に基づき速やかに事実確認・状況を把握し関係機関と連携を図り対応した。虐待認定に至らないケースについては、担当ケアマネを通じ状況確認しながら、介護保険サービスの導入や継続的な見守り等により虐待防止に努めた。

③の消費者被害の防止・消費者トラブルの情報発信は各自治会（福祉連絡会）に参加し意識啓発を行った。

（３）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

基幹型包括支援センター、各地域型包括支援センターと協力し、介護支援専門員の資質向上を図るための研修会の企画等を実施した。介護支援専門員からの相談（来所・電話）に対しアドバイスや地域資源の紹介や困難ケースの相談、必要時には同行訪問を行い、包括的・継続的ケアマネジメントを介護支援専門員が実践できるようにサポートを行った。

（４）在宅医療・介護連携推進事業に関する協力業務

沖縄市在宅医療、介護連携推進会議に参加した。地域住民への普及啓発としての「市民公開講座」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。「新型コロナウイルス感染症関連」、「情報共有ツールの整備」、「命しるべ冊子の活用方法」等の意見交換（ZOOM）を行った。多職種研修会（オンライン研修：ZOOM）にてファシリテーターとして参加した。

（５）生活支援体制整備事業に関する協力業務

自治会の福祉連絡会、老人クラブ定例会、高齢者サロン、地域の集いの場にて地域住民と情報交換を行い、必要時「第2層協議体」を開催し、課題解決に向けて住民や関係者と協議を行った。がんじゅうポイント制度の活用の説明行うが実績には繋がらなかった。

（６）地域ケア会議推進事業

総合相談、介護予防ケアマネジメント、介護支援専門員からの相談、認知症高齢者に関する相談等に対し個別事例の解決を目的とした個別地域ケア会議を開催した。介護支援専門員のニーズ調査から地域課題解決するために必要な地域関係者と住民の連携を図り、社会資源や人材課題について方策を探る目的とした圏域別地域ケア会議を開催した。

地域ケア会議の回数

地域ケア会議	個別地域ケア会議	圏域別地域ケア会議
0	5	1

(7) 介護予防ケアマネジメント業務

総合事業サービス調整会議から 78 件を自立支援に資したサービス調整を行っている。介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの業務一部委託については新規の利用者を優先的に調整した。ケアプラン確認の中でサービスの必要性やインフォーマルサービス等の検討等を含め確認を行った。介護予防ケアマネジメントが自立支援に資するよう自立支援地域ケア会議を開催した。

自立支援地域ケア会議の回数

西部北主催	基幹型主催
1	2

(8) 一般介護予防業務

一般高齢者に対する支援は、介護予防として住み慣れた地域で元気でいきいきと暮らせるために沖縄市の介護予防教室（高齢者パワーアップ教室、高齢者元気教室）や自治会のいきいき百歳体操に参加を推奨した。

(9) 指定介護予防支援事業

プラン件数	ケース件数	1人あたり平均
令和元年度実績	1,702人 (予防1,313+総合389)	43人 (予防33+総合10)
令和2年度実績	1,645人 (予防1,380+総合262)	39人 (予防33+総合6)

地域包括西部北（プラン件数）

	初回		継続		合計	
	R1	R2	R1	R2	R1	R2
事業対象者	14	11	375	251	389	262
要支援1	20	20	520	531	447	551
要支援2	18	21	761	808	779	829
計	47	52	1,655	1,593	1,702	1,645

委託先（プラン件数）

	初回		継続		合計	
	R1	R2	R1	R2	R1	R2
事業対象者	1	0	58	24	59	24
要支援1	7	3	165	142	172	145
要支援2	12	10	332	250	344	260
計	20	13	555	416	575	429

令和２年度は新規契約者 65 人。転ばん教室（自立に向けて）は 14 人。要介護が見込まれるケースや区分変更のケースについては委託事業所での調整を行った。委託先プラン件数が減る傾向が継続見られる。西部北プラン件数・実績（前年度比較で 57 件減少）であるが、実績に移行できない内容として、新型コロナ感染予防の影響でサービス利用を控える・体調不良・入院中・区分変更・死亡の内訳となる。

（10）認知症地域支援・ケア向上事業

認知症の相談支援や支援体制の構築として、対象者の自宅訪問や病院受診の対応を実施した。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い普及啓発活動等が制限される中、西部地区合同パネル展と認知症パネル展を開催した。認知症の人を支援する関係者間の連携として感染防対策を取りながら認知症サポーター養成講座（1 回）開催した。沖縄市（実施主体）から委託されている専門職（精神保健福祉士、看護師等）と連携し、認知症初期集中チーム員として対象宅へ訪問（2 件）し専門外来受診または介護保険サービスにつなげる等の支援を行った。

・相談支援・支援体制

自宅訪問	53 件
病院受診	46 件

・普及啓発活動

沖縄市西部地区合同パネル展	沖縄市図書館
西部北認知症パネル展	琉球銀行諸見支店
認知症サポーター養成講座	美東小学校

（11）その他・高齢者在宅福祉サービス

高齢者通院支援サービス事業、緊急通報システム設置事業、高齢者見守り体制整備事業（緊急医療情報キット配布）、食の自立支援事業（配食サービス）、ゆんたくコールに繋げた。

高齢者通院支援サービス事業	7 件
緊急通報システム設置事業	0 件
高齢者見守り体制整備事業（緊急医療情報キット配布）	13 件
食の自立支援事業（配食サービス）	4 件
ゆんたくコール	1 件

みどり学童クラブ 事業報告

1. 総括

新型コロナウイルス緊急事態宣言により4月・5月・8月・9月は小学校が休校になったことで、学童クラブは1日保育になり、児童が学童クラブで過ごす時間が多くなった。夏休みは緊急事態宣言中であったため遠足等の例年の行事は自粛したが、裏庭での屋外活動の時間を多く持ち児童のストレスにならないように務めた。デイサービスとの交流や学童カレーパーティなどを企画し、限られた内容の中で児童が学童クラブでの活動を楽しみに通えるように努めた。児童・指導員共に新型コロナ感染者は0名であった。

2. 運営状況

4月は児童42名で事業開始、令和3年3月時点では34名であった。高学年の習い事や部活入部での退会に伴い兄弟（3組）で退会したことが原因となった。

保護者負担分の収入は減となったが、7月に補助金の増額があり総収入は増となった。

3. 事業状況

(1) サービスの質の向上

①施設環境について・

- ・壁紙や装飾等で児童施設であるというイメージ、楽しいと感じられる雰囲気を作る。
→階段の壁に装飾コーナを設け、児童の写真や折紙等で季節に合った装飾を児童と共に行い、楽しさや季節を感じる雰囲気づくりに努めた。
- ・全学年が遊べる遊具や、学年に応じて様々な遊びが展開できるような環境を整える。
→新しい遊具の購入やタブレットを活用し学年に合わせたゲームやクイズ等で遊びを展開した。
- ・プロジェクターとスクリーンを活用し映画館の雰囲気でビデオ鑑賞を楽しむ。
→大型スクリーンで定期的にアニメ等のビデオ鑑賞会を行い児童に好評を得た。2月の保護者会では児童の活動状況を大型スクリーンに映し保護者に観てもらった。

②おやつについて

- ・アレルギー等に配慮したおやつや、季節や行事を楽しめるようなおやつを提供する。
→児童のアレルギーについて保護者に確認を取るが該当者はなく、給食センターの手作りおやつを全員に提供した。児童にアンケートを取り人気のあるおやつや季節や行事を楽しめるおやつの提供に努めた。

③交流について

- ・同世代や異年齢との交流や、学びや遊びを通し、自主性・協調性及び創造性を培う。
→発達段階が違う児童が、同年齢や学年が違う児童との日々の関りの中で、遊びや勉強・屋外活動等を通して自主性・協調性及び創造性が培えた。

- ・高齢者施設と併設をしている特色を活かし、行事だけでなく日常的に高齢者と児童がふれあう交流の場を多く持つ。

→新型コロナウイルスの影響で日常的に行うことは出来なかったが、1年生のお披露目会やハロウィンでの仮装お披露目会をガラス越しに実施した。

- ・地域包括支援センターと連携し、児童向けの高齢者に関する講座等を開催し、児童の頃から高齢者に関する理解を育む。

→6月に地域包括支援センターと学童指導員が胡屋自治会を訪問し、夏休みに向け胡屋自治会老人クラブとの交流を計画したが、新型コロナウイルスの状況により交流は実施できなかった。

- ・法人内の地バーリーや苑内エイサー等、沖縄の地域行事に触れる環境作りを行う。

→法人内の地バーリーや苑内エイサー等の行事は開催できなかった。

- ・開所10周年事業として、地域や父母、関係機関等を招き交流会を開催する。

→新型コロナウイルスの状況により親睦会の開催はできなかったが、保護者に記念品（給食センター手作りお菓子）を配布した。

④苦情について

- ・意見箱を設し、投書に対しては事実確認し早期適切に対応する。

→意見箱を設置し投書を求めたことや日頃から意見が言いやすいコミュニケーションづくりに努めた、苦情はなかった。

- ・必要時は保護者会を開催し、対応について保護者に説明をする。

→苦情がなかったことから、苦情に関する保護者会の開催はしなかった。

⑤家庭や学校・関係機関との連携について

- ・定期的に小学校との報告会を開催し、信頼関係の構築や、情報共有をすることで多角的な視点から支援を行う。

→6月に指導員と管理者が小学校を訪問し、気になる児童の情報共有と今後の支援の方法について会議を持った。新型コロナウイルスの状況により1回しか開催できなかったが、送迎時や電話等で気になる児童の様子を担当に報告し、情報共有に努めた。

- ・行政との連携に努め、必要時は情報を共有し支援を行う。

→不登校児童について、こども家庭課の専門職（作業療法士）との情報共有や支援方法について相談しながら支援を行った。

- ・保護者会を開催（2回/年）し、運営や行事等について意見交換ができる場を作る。

→7月に夏休みの行事について説明会を予定したがコロナの状況で開催できずに文書で説明をした。2月に保護者会を開催し運営や行事、児童の状況報告を行った。

- ・学童クラブ便り（1回/月）を発行する。随時ブログを更新する。

→クラブ便りの月1回の発行や、ブログを月1〜5回更新し学童クラブの行事や日々の活動状況を積極的に発信した。

⑥ニーズの把握について

- ・児童や保護者の関心や興味の把握、満足度についてモニタリングを行う。
- 関心や興味は児童・保護者への聞き取りが不十分で把握することができなかった。
満足度については、職員の対応やクラブへの要望等についてアンケートを実施した。
統計の結果、「満足度」は100%となり、職員や運営への要望はなかった。

(2) 人員の確保及び人材育成

①指導員の育成とスキルの向上について

- ・沖縄市や沖縄県、関係機関が主催する研修に積極的に参加し、専門職としてのキャリアアップを図る。受講後は他の指導員と研修の学びや知識を共有する。
- 沖縄県や沖縄市が主催する研修に参加し、専門職としての知識を学びスキルの向上に努めた。参加した指導員は部内会議で他指導員に情報を伝え共有した。
- ・特別な支援を必要とする児童については、情報や知識を共有し統一した対応ができるように研修の参加や部内会議・事例検討会を定期的実施する。
- 必要時は個別ケア会議を開催し情報の共有や相談の対応方法について検討をした。
- ・指導員会議・申し送り等をより充実させ、情報共有やチームワークの強化を行い、児童一人ひとりの指導がより細やかに行えるように努める。
- 毎日の申し送りや部内会議で情報の共有を行ったことで職員が同じ意識を持ち児童の指導が細やかに行えた。

②指導員の育成について

- ・経験値に合った研修計画を策定しステップアップを図り、やりがいを高める。
- 経験値に合った研修計画の策定はできなかった。市の研修案内に沿い専門分野の研修計画を策定し、4名の指導員を「キャリアアップ事業」と「障害児研修」に分けそれぞれ専門分野の学びでやりがいを高めた。

(3) 業務改善

①業務分担をする

- ・業務を明確化し分担表を作成する、全員が関われるように担当を交代する。
- 学童クラブ便りや送迎表作成・ブログ更新・月報作成等の担当を決めたが、担当を交代することはできず全員が関わることはできなかった。

(4) リスクマネジメント

①送迎時の安全について

- ・日頃から車両の点検やマニュアルを確認し、安全な送迎に努める。
- 事故0件、送迎車の日頃の点検を行い、事故のないように安全運転に努めた。

②感染症防止について

- ・インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症対策を職員・児童共に行う。

→新型コロナウイルスのマニュアル作成、指導員と児童が一体となって感染予防対策に努めた。検温・マスクの着用・手指消毒・換気・密の回避・施設や車両の消毒等。

・児童に手洗い・うがいの指導を徹底して行い感染症を予防する。

→正しい手洗い方法やうがいについて指導員が日々指導を行った。

・クラブ室の殺菌・消毒を毎日行い、感染源になりえる原因を取り除く。

→遊具やテーブル・椅子、家具、トイレ等のアルコール消毒を毎日行った。

③保育環境について

・裏庭の草刈りや整備を定期的実施し事故や怪我がなく安全に屋外遊びを行う。

→裏庭の草刈りや花を植える等、屋外活動が安全で楽しく参加できるように整えた。

・ヒヤリハットが出た時は職員間で早急に協議し、事故に繋がらないようにする。

→ヒヤリハットが出た時はその日に申し送りを行い、休みの職員に関しては翌日の申し送りで伝えた。ヒヤリハットは7件あったが事故には繋がらなかった。

④防犯・防災について

・法人内の防災訓練への参加や、当該クラブの防災・防犯マニュアルに沿った訓練を実施する。

→法人内の防災訓練は参加できなかった。学童クラブのマニュアルに沿い防災訓練と防犯（不審者）訓練を行った。

・警察や学校と連携し不審者等の情報交換や実践的な対処法について確認する。

→学校のメーリングリストを活用し不審者等の情報交換を行った。

4. 行事・活動等

(行事・イベント内容及び参加人数)

6 月	学校連携 諸見小学校顔合わせ（4 日）	2 名
	学校連携 諸見小学校面談（12 日）	27 名
7 月	みどり学童10周年記念品配布（1 日）	
	園外活動 中城公園（4 日）	16 名
	地域連携 胡屋自治会打ち合わせ（6 日）	3 名
	デイサービス交流 1年生お披露目会（7 日）	6 名
	園外活動 八重島公園（11 日）	16 名
	園外活動 桃原公園（25 日）	18 名
8 月	避難訓練①（4 日）	25 名
9 月	園外活動 県総公園（12 日）	12 名
	朗読会（26 日）	16 名
10 月	デイサービス交流 ハロウィン（31 日）	21 名
11 月	食育事業 ジャガイモ植え（25 日）	9 名
	朗読会（28 日）	13 名
1 月	避難訓練②（16 日）	8 名

2 月	食育事業 大根掘り（１５日）	8 名
	食育事業 大根もち作り（１７日）	28 名
3 月	食育事業 ジャガイモ掘り（５日）	10 名
	園外活動 中城公園（６日）	14 名
	園外活動 県総公園（１３日）	15 名
	食育事業 カレー作り お別れ会（２５日）	34 名
	園外活動 美東公園（２７日）	11 名

（職員研修、勉強会等）

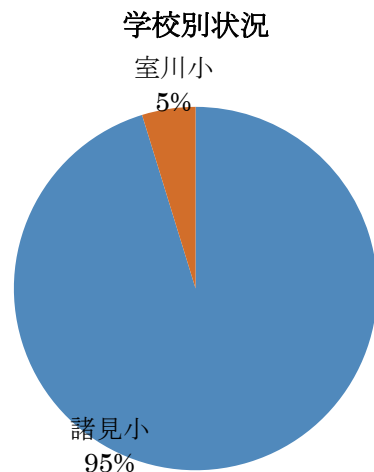
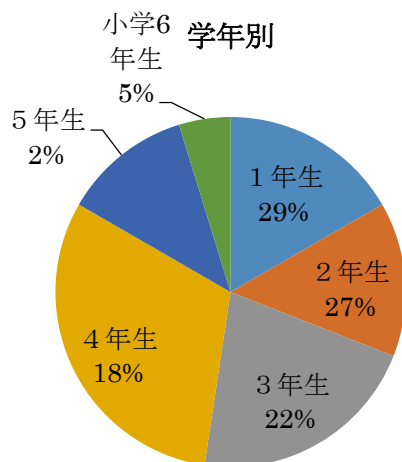
月	場 所	研修・勉強会名	参加人数
9 月	沖縄市民会館	キャリアアップ事業「放課後児童支援員の働き方基礎編」	1 名
10 月	沖縄市民会館	障がい児研修①	2 名
11 月	沖縄市民会館	キャリアアップ事業「放課後児童支援員の働き方ハラスメント編」	2 名
12 月	沖縄市民会館	障がい児研修②	2 名

5. 利用状況について

（１）年間実績（利用日数）

開所 日数	4 月 25 日	5 月 23 日	6 月 25 日	7 月 25 日	8 月 25 日	9 月 25 日	10 月 27 日	11 月 23 日	12 月 26 日	1 月 22 日	2 月 22 日	3 月 26 日
小 1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	5	5	5
小 2	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4
小 3	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
小 4	13	13	13	13	13	13	13	12	12	11	11	11
小 5	5	5	5	5	5	5	4	3	3	3	3	3
小 6	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	42	42	42	42	42	42	41	39	39	35	35	34

（２）児童の学年別、学校別の状況



(3) 入退状況

	入会	退 会				
	小学生	クラブ活動	家庭保育	転校	習い事	計
4 月	42	0	0	0	0	0
5 月	0	0	0	0	0	0
6 月	0	0	0	0	0	0
7 月	0	0	0	0	0	0
8 月	0	0	0	0	0	0
9 月	0	0	1	0	0	1
10 月	0	0	2	0	0	2
11 月	0	0	0	0	0	0
12 月	0	1	2	1	0	4
1 月	0	0	0	0	0	0
2 月	0	0	1	0	0	1
3 月	0	0	0	0	0	0
合計	42	1	6	1	0	8

ケアハウスはいびすかす

ケアハウスはいびすかす 事業報告

1. 総括

令和2年度は新型コロナ対策に迫られる一年となった。職員の検温、手指やテーブル、手すりなどの消毒を徹底し、施設へのコロナ流入防止に努めた。結果として利用者の感染は無く、職員は1名の陽性者が出たが、それも施設内での感染には至らなかった。

新型コロナ対策の一環として家族と利用者の面会制限を設けた。

終末期ケアに関して地域の訪問診療とこれまで以上の連携を取り「看取り」に取り組んだ。令和2年度は4名の施設看取りを行った。

2. 運営状況

年間稼働目標は97.0%。最終年間平均稼働率は94.3%。稼働率未達成の要因として7～9月の入居者数が49名であったこと、また令和3年1月～2月には満床となったものの2名の入院者があったことが考えられる。

新型コロナ対策の一環として家族と利用者の面会制限を設け、その対応として1階ホールにガラス越しで面会が出来るスペースを設置し屋内外の会話用にトランシーバーを導入した。

3. 事業状況

(1) サービスの向上

①【「笑顔」「挨拶」等、接遇サービスの基本的動作を再度意識し実践する】

前年度までフロアごとに行っていた朝礼を全体で行い、意識的に挨拶、笑顔で会話の出来る場作りに努めた。

②【「接遇マナー」「介護コミュニケーション」等、対人スキルに関する外部研修を取り入れる】

新型コロナ対策の観点から外部研修は行えなかった。

③【家族とのコミュニケーションを密にとり「利用者本人にとって、家族にとって」最良なサービスの提供を常に意識する】

面会制限中において、洗濯物の引き渡しや物品の差し入れ時には事務所で対応するのではなく、フロアの介護職が直接行うことによって日々の様子を伝え情報の共有化に努めた。

④【終末期の選択肢としての「施設における看取り」に対する知識と理解を深め、最善のサービス提供が出来る体制を整える】

勉強会等の開催は出来なかった。令和2年度は4名の施設見取りを行った。

- ⑤【入居者の日々の基本的な健康管理はもとより口腔ケアや感染症の専門的（主治医・看護師・歯科医・歯科衛生士）の意見を取り入れながら誤嚥性肺炎や感染症の予防を強化する】

専門医の指示のもと感染対策を行ったことにより、インフルエンザ、ノロ等の発生はなかった。

（2）『食』の改善

- ①【はいびすかす専属の栄養士配置し利用者の嗜好調査や摂取状況を確認し日々の食事に反映させる】

定例の手作りおやつ会は厨房職員が主導して行い、趣向を凝らしたおやつを提供した。また新型コロナ対策の観点からフロア毎の手作りおやつ会とした。

- ②【イベント時に提供する食事や日々のおやつにも楽しみが持てるよう企画する】

新型コロナの影響により法人主催の敬老会が中止となったため事業所内で行い、寿弁当を提供した。クリスマス忘年会にバイキング形式を実施した。

（3）人材育成

- ①【新人職員については、専任の先輩や指導者を個別に付け、介護技術や知識の習得を積極的に進める。また中堅以上の職員は外部の研修も多く参加し現場マネジメントの知識や技術を会得させる】

職員の採用がうまくいかず、現場での指導体制作りは出来なかった。また中堅職員の外部研修は新型コロナの影響により実施していない。

- ②【職員自主研修費用助成－職員の自主的な研修又は職務に関連する資格等の取得に対し助成する】

希望する職員がいなかったため実施せず。

- ③【介護福祉士資格取得に向けた一連の研修・試験に対し費用を施設が負担する。またスクーリング等に参加できるよう勤務調整を最優先に行えるようにする】

介護福祉士実務者研修2名の職員に費用助成をおこなった。介護福祉士合格者はなし。

- ④インドネシアより看護学生のインターンシップを受け入れ、施設研修、指導を行いなが

ら既存職員も自身のスキルの向上を図る。
新型コロナの感染拡大により入国できず未実施。

(4) 施設整備

【保守・修理】

整備予定であったフロア空調設備は経年劣化が激しいため補修ではなく全入れ替えとなった（2階・3階）。また居室の手洗い9台、温水式便座13台の交換をした。

厨房機器は数か所修理を行った（冷蔵庫・冷凍庫）

居室内エアコン清掃及びフロアのワックス清掃は新型コロナの影響により実施していない。

【購入・新規設置】

厨房機器は部品交換・修理にとどまり新規購入はせず。新型コロナウイルス対策として、各フロアに空気清浄機、施設玄関に据え置き型の体温計測装置を導入した。

(5) 防災対策

①【「非常災害時対策計画書」を基に災害発生を想定した訓練を年6回、消防立ち合いの総合訓練を年2回実施する】

新型コロナの影響もあり、当初のスケジュール通りではないものの、消防署の指示のもと年間に定められた訓練は実施した。

②【消火器・消火栓、非常灯等の災害設備の場所確認、動作確認を月1回行う】

年間を通して全職員が参加できるよう配慮し、毎月3～5名の職員で点検を行った。

③【非常連絡網を整備し、職員の異動や変更があった場合、速やかに更新し災害発生時に遅延のない連絡を行えるようにする】

定期的にリストに新人職員の漏れがないか、住居変更等がないかをチェックし常に最新の情報にするよう努めた。

(6) 新型コロナウイルス対策

①職員の健康管理を行う。出勤時の指手消毒及び検温の徹底。体調不良を認める場合、早退及び在宅での療養。

②施設内の衛生強化。手すり、テーブル等日常手に触れる箇所の随時の消毒。居室・ホールはこまめに換気を行う。

③面会制限。家族に事情を理解してもらい面会制限を継続する。協力医療機関医師や行政の助言を受けながら面会制限の解除（一部解除）を随時検討する。

新型コロナウイルス対策には①②を全職員に周知徹底した。③については面会制限の理解に努めたほか、面会制限の一部緩和の際には、屋内外で会話ができるようトランシーバーを導入し、1階ホールでガラス越し面会を実施した。

また施設長が県医師会及び中部地区医師会と連携し勉強会に参加することで職員に最新の情報の提供を行い正確な情報の共有と対策意識の持続に努めた。10月には県医師会主催の介護施設・行政・医療の連携体制作りのシミュレーションに参加した。

事業所内において月1回の感染症委員会を基本としながら必要時には職員ミーティングを持ち、体調管理や施設内消毒などに見落としがないか、検討を行った。

(7) 各種委員会・勉強会

	会議・委員会・勉強会	
4月	褥瘡防止委員会 4月3日(金)	3名
	事故防止委員会 4月6日(月)	5名
	感染症委員会 4月20日(月)	6名
5月	褥瘡防止委員会 5月5日(火)	3名
	事故防止委員会 5月1日(金)	8名
	感染症委員会 5月18日(月)	6名
6月	褥瘡防止委員会 6月3日(水)	3名
	身体拘束適正化検討委員会 6月25日(金)	3名
	介助方法について(移乗など)リスク管理勉強会 6月10日(水)	4名
	介助方法について(移乗など)リスク管理勉強会 6月19日(金)	3名
	事故防止委員会 6月2日(火)	7名
	介護福祉士実務者研修 6月12日～7月31日	1名
	感染症委員会 6月15日(月)	6名
7月	介護福祉士実務者研修 7月1日～8月12日	1名
	褥瘡防止委員会 7月5日(日)	3名
	身体拘束適正化検討委員会 7月22日(水)	5名
	身体拘束ゼロに向けての勉強会 7月30日(木)	7名
	事故防止委員会 7月2日(木)	8名
	幹部・主任会議 7月8日(水)	7名
	幹部・主任会議 7月29日(水)	9名
	感染症委員会 7月20日(月)	6名
8月	調理師資格取得試験準備講習会 8月1日～9月8日	1名
	褥瘡防止委員会 8月7日(金)	3名

	事故防止委員会 8月3日(月)	7名
	幹部・主任会議 8月19日(水)	9名
	2Fフロア会議 8月24日(月)	6名
	感染症委員会 8月17日(月)	6名
9月	褥瘡防止委員会 9月11日(金)	3名
	身体拘束適正化検討委員会 9月28日(月)	4名
	事故防止委員会 9月2日(水)	7名
	幹部・主任会議 9月16日(水)	9名
	高齢者虐待防止研修会 9月17日(木)	1名
	感染症委員会 9月14日(月)	6名
10月	褥瘡防止委員会 10月7日(水)	3名
	事故防止委員会 10月6日(火)	8名
	4Fフロア会議 10月8日(木)	4名
	新人職員研修2 10月15日(木)	1名
	感染症委員会 10月19日(月)	6名
	介護サービス基本研修3 10月21日(水)	10名
	施設現場における新型コロナウイルス感染症対策 10月24日(土)	3名
11月	褥瘡防止委員会 11月16日(月)	3名
	事故防止委員会 11月3日	7名
	ステップアップ研修Ⅰ 11月13日(金)	1名
	感染症委員会 11月16日(月)	6名
	係長・主任等研修2 11月20日(金)	1名
12月	褥瘡防止委員会 12月16日(水)	3名
	身体拘束適正化検討委員会 12月16日(水)	4名
	介助方法について(移乗など)リスク管理勉強会 12月29日(火)	3名
	事故防止委員会 12月3日(木)	8名
	全体会議 12月10日(木)	23名
	嚥下の仕組みと食事支援のポイント勉強会 12月15日(火)	7名
	幹部・主任会議 12月16日(水)	5名
	嚥下の仕組みと食事支援のポイント勉強会 12月17日(木)	7名
	2Fフロア会議 12月27日(日)	4名
	感染症委員会 12月21日(月)	6名

(8) クラブ活動、(9) 行事計画等

新型コロナの影響により外部講師を迎えてのクラブ活動及び園外活動はほぼすべて中止となった。

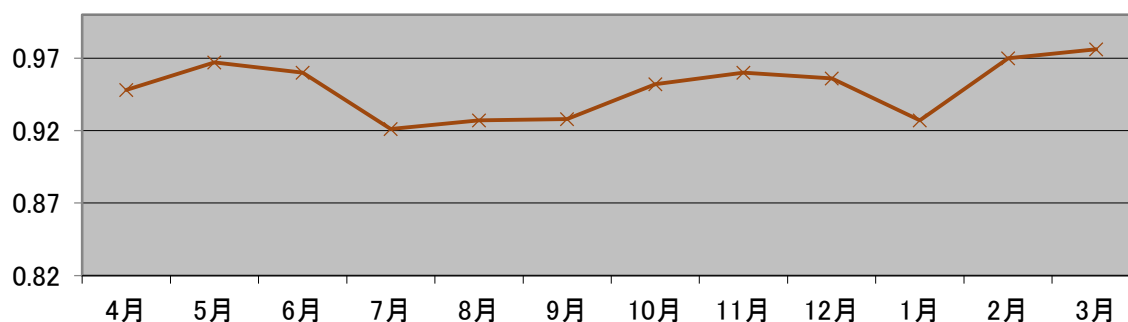
	行事	
5 月	母の日会 5 月 8 日 (金)	43 名
7 月	書道クラブ 7 月 13 日 (月)	8 名
	ミニシアター 7 月 15 日 (水)	21 名
8 月	書道クラブ 8 月 10 日 (月)	4 名
	誕生会 8 月 28 日 (金)	36 名
	手作りおやつ 8 月 13 日 (木)・8 月 17 日 (月)	15 名・17 名
9 月	書道クラブ 9 月 28 日 (月)	8 名
	手芸クラブ 9 月 11 日 (金)	4 名
	敬老会 9 月 18 日 (金)	45 名
10 月	運動会 10 月 13 日 (火)	44 名
	手芸クラブ 10 月 16 日 (金)	6 名
	ミニシアター 10 月 21 日 (水)	14 名
12 月	お茶会 12 月 11 日 (金)	9 名

利用者状況

(1) 年間実績 (利用日数)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
日数	1500	1550	1500	1550	1550	1500	1550
入居	1423	1500	1440	1428	1437	1393	1476
入院	77	50	60	122	113	107	74
稼働率	94.8%	96.7%	96.0%	92.1%	92.7%	92.8%	95.2%
月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	
日数	1500	1550	1550	1400	1550	18,250	
入居	1440	1482	1438	1359	1513	17329	
入院	60	68	112	41	37	921	
稼働率	96.0%	95.6%	92.7%	97.0%	97.6%	94.9%	

月間稼働率推移



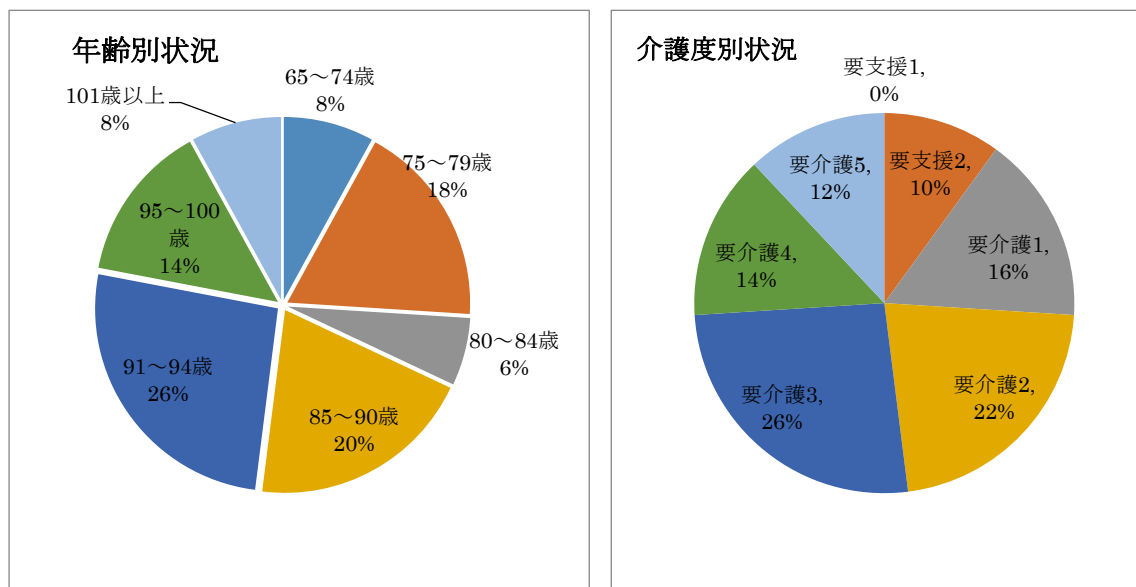
(2-1) 入居者の性別、要介護度別、年齢別の状況 (要支援)

	要支援 1		要支援 2		計	
	男	女	男	女	男	女
65～69歳	0	0	0	0	0	0
70～74歳	0	0	0	0	0	0
75～79歳	0	0	0	0	0	0
80～84歳	0	0	0	0	0	0
85～89歳	0	0	1	0	1	0
90～94歳	0	0	0	2	0	2
95～99歳	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	2	1	2
平均年齢	0.0	0.0	87.9	91.3	87.9	91.3

(2-2) 入居者の性別、要介護度別、年齢別の状況 (要介護)

	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
65～69歳	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1
70～74歳	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
75～79歳	2	0	1	2	1	0	0	1	0	0	4	3
80～84歳	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	2	2
85～89歳	1	1	0	1	0	2	1	1	0	1	2	6
90～94歳	0	2	1	8	1	4	0	1	0	0	2	15
95～99歳	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	4
100歳以上	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
計	4	5	4	12	2	10	1	5	1	3	12	35
平均年齢	77.9	84.0	79.4	90.0	84.9	90.1	84.7	87.5	81.1	93.7	81.1	89.8

最高年齢 106 歳、最少年齢 66 歳、平均年齢 87.8 歳 （男性 82.3 歳 女性 89.6 歳）



(3) 入退居状況

	入 居			退 居				
	在宅	施設	計	死亡	医療機関	他施設	在宅	計
4 月	2	0	2	0	0	0	0	0
5 月	1	0	1	1	0	0	0	1
6 月	2	0	2	3	0	0	0	3
7 月	1	0	1	2	0	0	0	2
8 月	2	0	2	1	0	0	0	1
9 月	1	0	1	2	0	0	0	2
10 月	3	0	3	0	0	0	0	0
11 月	0	0	0	0	0	0	0	0
12 月	0	0	0	0	0	0	0	0
	入居			退居				
	在宅	施設	計	死亡	医療機関	他施設	在宅	計
1 月	0	0	0	1	0	0	0	1
2 月	1	0	1	0	0	0	0	0
3 月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	13	0	13	10	0	0	0	10

ケアハウスていんさぐぬ花

ケアハウスていんさぐぬ花 事業報告

1. 総括

利用者サービスは、日々の体操やレク活動、口腔ケア、入浴の実施で身体の清潔の保持に努めた。インフルエンザの感染はなかった。新型コロナウイルス感染者が利用者1名、職員2名に感染があった。施設で感染者が出た事を受け、協力病院医師が2F利用者24名にPCR検査を実施。関係機関と連携し情報の共有及び備蓄の確保。また職員が隔離者居室前をパーテーションで区切り、ガウン等を設置するなど感染拡大防止に努めた。

面会制限中は、ガラス越しの面会やビデオ通話、家族に誕生会等の写真を送付し、利用者や家族の心身の安定を図った。協力病院医師と連携し、1名の看取りに取り組む事ができた。

2. 運営状況

毎月1日付け定員50名（内2名は自立）は維持できた。入退去相談は、独居暮らしが困難な方やご家族で介護する事が困難な方などを優先に入居。又、入院し継続治療が必要で退院の目途がつかない利用者や他施設を希望されている利用者については、関係機関と連携し円滑な退去に努めた。経済的理由で1名の利用者が介護老人福祉施設緑樹苑に転居した。

心身の変化は早期発見し、食事形態の見直しや居室にセンサーを設置するなどリスクの軽減に努めた。又、体調不良者については、家族の協力を得ながら必要に応じ早期受診を促し状態の悪化を防ぐ事に努めた。上半期は肺炎や検査、尿路感染、蜂窩織炎等の様々な症状で入院が相次ぎ稼働率は94.7%。下半期は入院日数が減り97.2%となった。

新型コロナウイルス感染予防対策で施設を開放した高齢者サロンは中止。地域の草刈り作業等の地域貢献活動は、1回の実施となった。

3. 事業実績

稼働率は95.9%（目標97.5%。前年度実績97.6%）

4. 事業状況

（1）利用者サービスについて

介護員の見守りで安心・安全な入浴を実施し身体の清潔を保てた。歯科衛生士の助言に基づいた口腔ケアを実施し肺炎予防に努めた。個別機能訓練計画に基づいた機能訓練を実施し転倒予防に努めた。看護師による薬管理やかかりつけ医との連携し薬の調整などを実施し状態を維持する事に努めた。生活相談員が、本人の状態やご家族の意向を聞き取り入退去相談ができた。屋外活動や地域交流は、新型コロナウイルス感染予防の為に中止。レク活動も各フロアで実施。入浴時間帯に職員紹介でボランティア1名が約1ヵ月間入り、利用者の着替えやドライヤーなどを補助してもらった事で業務が円滑になった。新型コロナウイルス感染予防の面会制限は、ご家族様へビデオ通話やガラス越しの面会、日々の活動写真などを家族へ送付し、情報の共有に努めた。

(2) 人材育成について

①【笑顔・挨拶・思いやりを求める職員像とし、コミュニケーションを円滑に行い、働きやすい職場環境に努める】

→求める職員像を掲示し周知に努め、職員一人一人が意識して行動できるように図った。挨拶など徐々に効果は出てきている。職員のコミュニケーションと情報の共有を目的に朝礼を実施。多職種の職員が夜間帯の利用者の状況や当日の受診者などを把握した。

②【主任会議等を実施し、課題解決に取り組む】

→利用者の身体及び精神状況を検討し、車いすから歩行器やリクライニング車椅子へ変更、不穏時は傾聴し見守る又はかかりつけ医に情報提供し薬の調整を行うなど、多職種が利用者に今必要なケア方法を話し合い、家族の協力も得ながら取り組むことができた。また厨房会議を持ち、2時間以内喫食の徹底や防災訓練DVDを鑑賞し消火器の取扱い等を学んだ。

③【研修などで看取りに関する理解を深める】

→命しるべ(沖縄県医師会)の資料をもとに、最期の時間をどのように過ごしたいのか、利用者の置かれている状況やその方がどうしたいと考えているのか家族はどう考えているのかという事理解について施設内勉強会を実施した。

④【介護や権利擁護等の勉強会を2回実施する】

→移乗などの実践的な介護の勉強会は実施できなかった。施設内勉強会で、高齢者の介護と尊厳をキーワードとし、老化や認知症の症状が進行していようと、他人とは代替えできない固有の自己であるという事。自律性を尊重するという事は自己決定権や選択権が本人にあるという事を学んだ。施設内研修では外部講師にて尊厳についての講義があり、利用者にとっての安全や安心感は職員の声かけによって利用者の尊厳が守られ信頼関係ができる。意識向上改革、サービスの質や気づき、言葉遣い等が重要と理解することができた。不適切なケアの背景等ないか、虐待に繋がらないよう職員同士で注意・確認し情報共有することができた。

⑤【本部主催の研修や県内外研修へ参加し、スキルアップを目指す】

→新人研修、中堅職員、係長・主任研修等に参加し、介護員の心得や相手にどう伝えるか、どう伝わっているかという視点も大切だと学んだ。

県内外の研修(オンライン)で、新型コロナウイルス感染症発生シミュレーション研修、人事労務講座、会計決算実務者講座、初級リスクマネージャー養成講座等に参加できた。研修資料等を職員へ回覧し情報を共有することで意識向上を図った。

⑥【介護福祉士実務者研修や自主研修費について、その費用を助成する】

→無資格者の介護員2名が初任者研修及び実務者研修を申し込み、その費用を助成した。他、調理師資格取得1名、甲種防火管理者資格取得1名。

⑦【職員が業務を振り返り自己を評価する】

→職員が年2回自己を評価し人事考課に反映する事ができた。

⑧【ハローワーク等の利用や職員紹介などで雇用を図る】

→雇用は常勤7名（内2名職員紹介）、パート3名を採用できた。又、調理員パート1名が介護員パートへ職種変更。常勤1名が介護員パートへ雇用形態の変更。

（3）設備管理、備品及び環境の整備について

①【定期的に館内外の設備点検を実施】

→専門業者が、受水槽・電力・エレベーター・自動ドア・消防機器、建物調査等の設備点検を実施し安全管理に努めた。

②【車いすや車両などの清掃や定期点検】

→車いすや車両等を定期的に清掃できた。また館内外の害虫駆除も実施できた。

③【池の清掃、草刈りや剪定を実施】

→池の清掃や草刈りを実施した。冷暖房機のクリーニングを実施した。

④【備品等の修繕や必要に応じ買い替えを実施】

→冷暖房機の故障（水漏れ、基板故障等）が11台あり修繕した。洗濯機1台を故障により買い替えた。

（4）安全衛生について

①【安全衛生委員会と連携を図る】

→安全委員会が、腰痛予防等の資料や会議録を職員に回覧し周知に努めた。

②【ストレスチェックの実施】

→ストレスチェックを実施し職員の心身の健康管理に努めた。

③【できるだけ就業時間内に業務が終了するように努める】

→体調不良等による急な欠勤を補う為超勤が続き、結果就業時間内に業務が終了する事ができない日もあった。

④【計画的に年休を消化できるように努める】

→年休は利用者サービスに支障がないよう職員間で勤務調整し計画的に消化できた。

（5）リスクマネジメントについて

①【身体拘束及び虐待の禁止】

→身体拘束廃止委員会を実施し、その会議録や資料を閲覧し職員の意識向上を図った事で、身体拘束や虐待はなかった。

②【ヒヤリハットを分析し、事故防止を図る】

→独歩でエレベーターを降り玄関から外に出る、又は回廊に出る等のヒヤリハットが最も多く、対策としては見守りの強化、人感センサーの設置、不穏が続くようであれば

ば家族と一緒に外出して頂くなどの対応で事故防止を図った。

③【事故等のマニュアルに従い記録をしっかりと取る】

→事故発生時の記録を取り原因を検討し、人感センサー等を設置し再発防止に努めた。

④【利用者や家族の要望や苦情は丁寧に聞き取る】

→新型コロナウイルス感染予防で外出が制限される中、利用者の買い物などの要望は家族に依頼した。又、利用者や家族が面会したい要望に対しガラス越しの面会やビデオ通話を実施した。苦情解決委員会の実施で、ご家族様とのコミュニケーション図り情報の共有に努める事や小さい要望が大きな苦情につながる事を周知し初動が大切であることを確認。結果苦情はなかった。

⑤【毎月の防災訓練の実施で防災意識の向上を図る】

→毎月の防災訓練は、職員の欠勤があった日などは実施できない月もあった。大規模地震・津波を想定した沖縄市防災訓練に参加し、4Fへ避難する訓練を実施した。年2回の消防立ち合いによる訓練は、新型コロナウイルス感染予防で実施できなかった。

⑥【急変時や災害等の初動は迅速に行う】

→利用者の意識消失などの急変時は、看護師を中心に多職種が連携し酸素吸入などを施し迅速に対応した。必要に応じ救急車を手配し家族に状況を説明し対応してもらった。消防機器等の不良箇所を修繕する、ダンボールは施錠ができる場所に保管するなど災害の予防に努めた。台風により前日の夜間帯から翌朝迄停電が発生、自家発電が作動するも固定電話が使用できない、防災監視盤が連動していないなどがあり業者に工事を依頼。他、各フロアのB棟及びC棟側コンセントを通電し吸引器等が使用できるようにした。利用者サービスに大きな影響はなかった。

(6) 感染予防について

①【インフルエンザや新型コロナウイルス対策等については、感染対策マニュアル等に基づき手洗いやうがい・アルコールによる手指消毒・車いすやエレベーター内などの消毒を実施する】

→利用者は、マスクの着用や食事前に手指消毒するなど感染予防に努めた。又、アルコールによるテーブルやいすの消毒、車いすやエレベーター内などの消毒を行った。出勤時の平熱確認、PCR検査を3回実施し陰性を確認。業者についても同様に平熱確認と来訪者届への記載を求めた。厨房関係の業者については、厨房勝手口で平熱確認し納品を行った。

②【沖縄県から警報が出た場合は出勤時の検温を実施し、できる限り混雑した場所を避け規則正しい生活で体調を管理する】

→沖縄県から新型コロナウイルス感染予防対策で、3密の回避や外出自粛などが発令され、出勤時の平熱確認やマスク・フェイスシールド着用を徹底。職員1名が自宅で平熱確認するも出勤時微熱あり帰宅。受診の結果、新型コロナウイルスに感染しており、

迅速に関係機関と連携及び情報を共有し、利用者の PCR 検査を実施。利用者 1 名、職員 2 名の感染を確認し家族へ状況報告を行った。

③【感染症対策委員会の実施】

→感染予防対策で居室隔離方法を確認。状態に変化がない利用者についてはご家族へ定期受診 3 ヶ月後を依頼。利用者体調不良者の情報共有。フロア別でレク活動の実施。面会制限の実施。職員は、平熱確認・マスク・フェイスシールド着用・アルコールによる手指消毒の徹底、更衣室を分ける、休憩が重なった場合は個別で食事を摂る、沖縄県からの 3 密を避けるなどの感染対策資料を張り出し周知を図る、備蓄の確保、新型コロナウイルス感染者が出た事を受け、感染者との濃厚接触者については居室で隔離し、居室前にビニールやパーテーションで遮り、ガウン・手袋・ゴミ箱等を設置。食事は使い捨ての弁当箱で対応。その他の利用者は、食堂席を離す、細テーブルに 2 人掛けにするなどを実施した。

④【健康診断の実施】

→健康診断を実施できた。又、職員の PCR 検査を 3 回実施し陰性を確認できた。

⑤【インフルエンザ予防接種の実施】

→利用者 51 名、職員 18 名が、インフルエンザ予防接種を実施した。

(7) 経費削減について

①【快適に過ごせるよう空気の入替えなどを実施】

→館内や居室は定期的な喚起や必要に応じた冷暖房機の使用で快適に過ごせた。

②【照明は適切に使用し、水の出しっぱなしはしない】

→照明は適切に使用できた。水の使用は定期的に居室などを見回りし、出しっぱなしを防いだ。

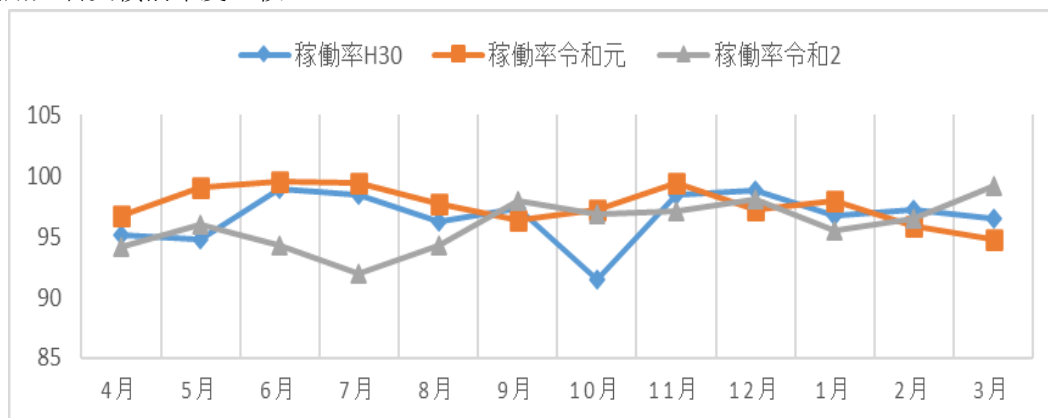
③【常にムリ、ムダがないよう業務内容を見直す】

→職員の欠勤等を補う為超勤が多くなり、業務内容を見直す事は出来なかった。

(8) 年間実績

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
入居	50 名	50 名	50 名	50 名	50 名	50 名	50 名
入院	4 名	1 名	3 名	4 名	6 名	2 名	2 名
稼働率	94.1%	96.0%	94.3%	92.0%	94.3%	97.9%	96.9%
月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	
入居	50 名	50 名	50 名	50 名	50 名	300	
入院	4 名	2 名	3 名	3 名	3 名	37 名	
稼働率	97.1%	98.1%	95.5%	96.5%	99.2%	95.9%	

月間利用入居実績前年度比較



入退居状況

(単位:人)

	入 居			退 去				
	在宅	施設	計	死亡	医療機関	他施設	居宅	計
4 月	0	0	0	0	1	0	0	1
5 月	1	0	1	0	0	1	0	1
6 月	1	0	1	0	0	0	0	0
7 月	1	0	1	0	1	0	0	1
8 月	1	0	1	0	1	0	0	1
9 月	0	0	0	0	0	0	0	0
10 月	0	0	0	0	0	0	0	0
11 月	1	0	1	1	0	0	0	1
12 月	0	0	0	0	0	0	0	0
1 月	1	0	1	1	0	0	0	1
2 月	1	0	1	1	0	0	0	1
3 月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7	0	7	3	3	1	0	7

入居者の性別、年齢別、要介護度別の状況

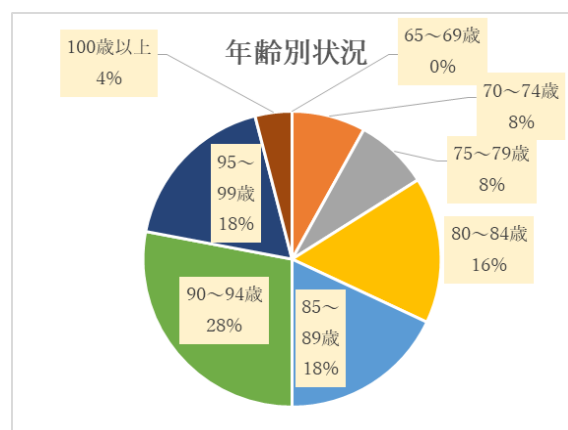
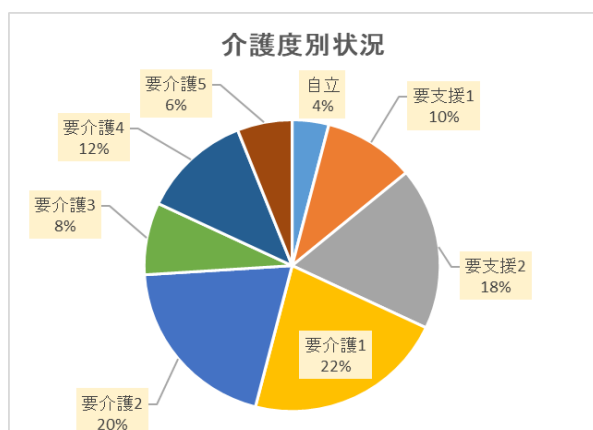
(単位:人)

令和2年度	自立		要支援1		要支援2		計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
65～69 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74 歳	0	0	1	0	0	0	1	0	1
75～79 歳	0	1	0	0	2	0	2	1	3
80～84 歳	1	0	0	0	0	1	1	1	2
85～89 歳	0	0	0	0	1	2	1	2	3
90～94 歳	0	0	1	2	1	2	2	4	6
95～99 歳	0	0	0	1	0	0	0	1	1
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	2	3	4	5	7	9	16
平均年齢	80	79	82	92	82	88	81	87	84

(単位:人)

令和2年度	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74歳	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	2	1	3
75～79歳	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
80～84歳	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5	6
85～89歳	1	2	1	1	0	0	1	0	0	0	3	3	6
90～94歳	0	0	0	3	0	1	1	3	0	0	1	6	7
95～99歳	0	3	1	1	1	1	0	0	0	1	2	6	8
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	2
計	1	10	5	5	1	3	2	4	0	3	8	24	32
平均年齢	88	87	80	92	99	89	90	93	0	91	86	91	83

- ・最大年齢100歳、最小年齢70歳
- ・平均年齢：男性86歳、女性89歳、計87歳
- ・平均介護度：1.7



会議・勉強会

月	場 所	会議・勉強会	参加人数
4月3日	ていんさぐぬ花	主任会議	5名
4月7日	ていんさぐぬ花	施設内会議	13名
4月10日	ていんさぐぬ花	勉強会・感染症について、令和2年度事業計画について	6名
4月25日	ていんさぐぬ花	3階フロア会議	6名
5月1日	ていんさぐぬ花	主任会議	5名
5月8日	ていんさぐぬ花	勉強会・緊急時の対応について	5名
5月13日	ていんさぐぬ花	2階フロア会議	9名

5月22日	ていんさぐぬ花	3階フロア会議	8名
5月27日	ていんさぐぬ花	厨房会議	7名
5月27日	ていんさぐぬ花	臨時・主任会議	5名
6月24日	ていんさぐぬ花	2階フロア会議	8名
6月26日	ていんさぐぬ花	3階フロア会議	7名
7月2日	ていんさぐぬ花	主任会議	5名
7月10日	ていんさぐぬ花	臨時・主任会議	5名
7月13日	ていんさぐぬ花	勉強会・感染症対策について	8名
7月19日	ていんさぐぬ花	2階フロア会議	4名
7月24日	ていんさぐぬ花	3階フロア会議	7名
8月4日	ていんさぐぬ花	主任会議	4名
8月14日	ていんさぐぬ花	勉強会・高齢者の介護と尊厳について、レクリエーションについて	6名
8月21日	ていんさぐぬ花	2階フロア会議	8名
8月26日	ていんさぐぬ花	3階フロア会議	6名
9月4日	ていんさぐぬ花	主任会議	4名
9月11日	ていんさぐぬ花	勉強会・看取り(命しるべ)について、事故報告・ヒヤリハットについて	10名
9月25日	ていんさぐぬ花	3階フロア会議	5名
10月9日	ていんさぐぬ花	主任会議	5名
10月12日	ていんさぐぬ花	2階フロア会議	8名
10月23日	ていんさぐぬ花	3階フロア会議	7名
11月2日	ていんさぐぬ花	主任会議	5名
11月14日	ていんさぐぬ花	厨房会議	6名
11月16日	ていんさぐぬ花	勉強会・緊急時の対応について、ビデオ通話による面会について	9名
11月27日	ていんさぐぬ花	3階フロア会議	8名
11月30日	ていんさぐぬ花	2階フロア会議	7名
12月1日	ていんさぐぬ花	主任会議	4名
12月10日	ていんさぐぬ花	勉強会・リフト車について	6名
12月11日	ていんさぐぬ花	勉強会・防火管理について	10名
12月24日	ていんさぐぬ花	2階フロア会議	6名
12月25日	ていんさぐぬ花	3階フロア会議	7名

1 月 5 日	ていんさぐぬ花	主任会議	5 名
1 月 15 日	ていんさぐぬ花	2 階フロア会議	5 名
1 月 15 日	ていんさぐぬ花	臨時・主任会議	5 名
1 月 22 日	ていんさぐぬ花	3 階フロア会議	10 名
1 月 30 日	ていんさぐぬ花	勉強会・リフト車について	5 名
2 月 2 日	ていんさぐぬ花	主任会議	5 名
2 月 10 日	ていんさぐぬ花	臨時・主任会議	4 名
2 月 12 日	ていんさぐぬ花	勉強会・看取りについて、事例振り返りについて	11 名
2 月 19 日	ていんさぐぬ花	2 階フロア会議	6 名
2 月 26 日	ていんさぐぬ花	3 階フロア会議	9 名
3 月 2 日	ていんさぐぬ花	主任会議	5 名
3 月 12 日	ていんさぐぬ花	勉強会・高齢者虐待防止について、メタルヘルスについて	8 名
3 月 19 日	ていんさぐぬ花	2 階フロア会議	6 名
3 月 26 日	ていんさぐぬ花	3 階フロア会議	6 名
3 月 29 日	ていんさぐぬ花	厨房会議	5 名
3 月 29 日	ていんさぐぬ花	勉強会(厨房職員)防災訓練について	5 名

研修

月	場 所	研修・勉強会名	参加人数
6 月 18 日	緑樹苑	経理勉強会	1 名
6 月 19 日	緑樹苑	中堅職員研修 I	1 名
7 月 10 日	緑樹苑	新人職員研修 I	1 名
7 月 17 日	緑樹苑	係長・主任研修	2 名
7 月 20 日	緑樹苑	経理勉強会	1 名
9 月 17 日	緑樹苑	虐待防止研修	0 名
10 月 15 日	緑樹苑	新人職員研修 2	0 名
10 月 23 日	緑樹苑	経理勉強会	1 名
10 月 24 日	ていんさぐぬ花	新型コロナウイルス感染症発生シミュレーション研修	1 名
10 月 26 日、27 日	ていんさぐぬ花	人事労務講座	1 名
11 月 13 日	緑樹苑	ステップアップ研修	1 名
11 月 20 日	緑樹苑	係長・主任等研修 2	0 名
11 月 26 日	緑樹苑	経理勉強会	1 名
12 月 3 日	緑樹苑	介護ロボ見学会	1 名
12 月 4 日	ていんさぐぬ花	介護サービス基本研修・	13 名

		尊厳あるサービスとは	
12月9日、10日	名護市民会館	甲種防火管理新規講習	1名
12月17日	緑樹苑	中堅職員研修	0名
12月23日	緑樹苑	経理勉強会	1名
1月15日	緑樹苑	新人職員研修	1名
1月21日	緑樹苑	経理勉強会	1名
1月29日	緑樹苑	新人フォローアップ研修	0名
2月8日	緑樹苑	会計決算実務者講座	1名
2月9日、10日	ていんさぐぬ花	初級リスクマネージャー 養成講座(オンライン)	1名
2月10日	ていんさぐぬ花	社会福祉法人次世代塾	1名
2月24日	緑樹苑	経理勉強会	1名
3月26日	中部保健所	H A C C P の考え方を取り 入れた衛生管理講習会	1名

安全衛生委員会

月	場 所	会議、研修名	参加人数
6月24日	緑樹苑	令和2年度 月別審議事項について	1名
9月23日	緑樹苑	インフルエンザ予防接種について ストレスチェックについて 有休消化について	0名
10月28日	緑樹苑	メンタルヘルスについて	1名
11月25日	緑樹苑	腰痛予防について	1名
12月23日	緑樹苑	次年度計画案審議	1名

行事実施状況

月	行事・イベント名	参加人数
4月	誕生会（16日）	3人
5月	家族会監査（8日）	3人
	母の日会（9日）	45人
	誕生会（21日）	3人
6月	沖縄県議会議員選挙不在者投票（2日）	14人
	父の日祝い会（20日）	40人
	散髪（24日）	22人
	散髪（25日）	13人
	家族会清掃及び総会（27日）	12 家族7人
7月	七夕会（7日）	40人
	誕生会（16日）	5人
	防災訓練（18日）	

	誕生会 (20 日)	2 人
9 月	防災訓練 (15 日)	
	誕生会 (17 日)	4 人
	敬老会 (21 日)	
10 月	運動会 (12 日)	2 階 20 人、3 階 21 人
	散髪 (13 日)	18 名
	散髪 (14 日)	19 名
	誕生会 (15 日)	8 名
11 月	沖縄市防災訓練 (5 日)	
	誕生会 (19 日)	8 人
	利用者健康診断 (27 日)	37 名
12 月	防災訓練 (15 日)	
	誕生会 (17 日)	4 人
	散髪 (22 日)	21 人
	散髪 (24 日)	21
	クリスマス忘年会 (25 日)	47 人
1 月	新春お茶会 (11 日)	39 人
	防災訓練 (19 日)	
	誕生会 (21 日)	5 人
2 月	誕生会 (18 日)	1 人
3 月	ひなまつりお茶会 (5 日)	45 人
	防災訓練 (16 日)	
	散髪 (17 日)	17 人
	誕生会 (18 日)	1 人
	散髪 (25 日)	19 人

レク活動

クラブ名	回数	参加人数 (1 回当たり)
カラオケ	27	16
歌声	60	12
ビデオ鑑賞	183	13
民舞	38	15
ドライブ	0	0
三板	23	23
塗り絵	24	14
お茶会	2	23
ボーリング	11	12
輪投げ	27	12
手工芸	54	13
スカッシュボール	15	12
体操	484	13
脳トレ	40	12

バレー	5	16
-----	---	----

5. 各種委員会

月	場 所	会議名	参加人数
5月2日	ていんさぐぬ花	行事委員会	4名
5月9日	ていんさぐぬ花	感染症予防対策委員会	6名
6月27日	ていんさぐぬ花	行事委員会	8名
7月21日	ていんさぐぬ花	行事委員会	6名
7月22日	ていんさぐぬ花	身体的拘束等適正化検討委員会	6名
8月15日	ていんさぐぬ花	感染症予防対策委員会	3名
9月6日	ていんさぐぬ花	行事委員会	6名
10月3日	ていんさぐぬ花	感染症予防対策委員会	5名
10月3日	ていんさぐぬ花	行事委員会	3名
10月30日	ていんさぐぬ花	リスクマネジメント委員会	3名
10月30日	ていんさぐぬ花	苦情委員会	3名
10月31日	ていんさぐぬ花	行事委員会	8名
11月2日	ていんさぐぬ花	身体的拘束適正化検討委員会	6名
12月1日	ていんさぐぬ花	感染症予防対策委員会	4名
12月14日	ていんさぐぬ花	行事委員会	6名
1月27日	ていんさぐぬ花	行事委員会	7名
3月2日	ていんさぐぬ花	身体的拘束適正化検討委員会	6名
3月2日	ていんさぐぬ花	感染症予防対策委員会	5名
3月2日	ていんさぐぬ花	行事委員会	3名
3月30日	ていんさぐぬ花	身体的拘束適正化検討委員会	4名
3月30日	ていんさぐぬ花	リスクマネジメント委員会	4名
3月30日	ていんさぐぬ花	苦情解決委員会	4名